

市庁舎の整備に関するアンケート調査結果 報告書（案）

平成 30 年 8 月

大 牟 田 市

— 目 次 —

1	調査の概要	1
	1-1. 調査の目的	1
	1-2. 調査の方法	1
2	調査の概況	2
	2-1. 回収率、回答者の属性	2
	(1) 回収率等	2
	(2) 回答者の属性	3
	2-2. 各設問の集計結果	4
3	市民アンケート調査結果	32
	(1) 来庁頻度	32
	(2) 交通手段	33
	(3) 来庁の目的	35
	(4) 困ったこと、不便に感じたこと	37
	(5) 市庁舎に求めるもの	39
	(6) 市庁舎にあった方がよいと思う機能	41
	(7) 整備手法を決定するにあたり、重要と思う視点	43
	(8) 本館の取扱い	45
	(9) 仮庁舎の設置	48
	(10) 公共交通の利便性の確保	49
	(11) 分かりやすい場所であること	50
	(12) 既存の市有地を活用すること	51
	(13) 新規に土地を取得すること	52
	(14) 新規に土地を取得する場合、適切と思う場所	53
	(15) 市庁舎の建設場所を検討するにあって考慮すること	54
4	調査票	56
	4-1. 市民アンケート調査	56
	(1) 依頼文	56
	(2) アンケート回答にあたっての参考資料	57
	(3) 調査票	65
	(4) お礼状兼督促状	72
	4-2. インターネットアンケート調査	73
	(1) 調査票	73
	4-3. 団体アンケート調査	77
	(1) 依頼文	77
	(2) 調査票	79

1 調査の概要

1-1. 調査の目的

現在の市庁舎（本館）は、建設後 80 年以上が経過し、建物や設備の老朽化、耐震性能不足、バリアフリーなどの課題を抱えている。

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震においては、災害活動の拠点となる庁舎が損壊し、使用不能になったことで、復旧活動や業務継続に支障をきたした例が見られ、庁舎の耐震性の確保について、全国的にその重要性の認識が広まったところである。

このような背景を踏まえ、本市では、当初平成 31 年度に予定していた庁舎整備の検討を平成 28 年度に前倒しして実施しており、具体的には、平成 28 年度に、庁舎の耐震診断調査や現況調査を実施し、平成 29 年度に「大牟田市庁舎整備手法検討に係るシミュレーション結果報告書」を作成、公表したところである。

平成 30 年度は市庁舎の改修や建替えに向けた検討を進めており、庁舎整備の手法等に関する市民の意見を把握するため、市民アンケート調査をはじめとした各種アンケート調査を実施した。

1-2. 調査の方法

アンケート調査は、「市民アンケート」、「インターネットアンケート」、「団体アンケート」の 3 つを実施した。詳細は下表のとおりである。

■調査の方法

	市民アンケート	インターネットアンケート	団体アンケート
対象	2,000人 ※1	本市HP閲覧者	各種団体(54団体) ※2
実施期間	6月21日～7月10日	6月21日～7月10日	6月21日～7月10日
実施方法	郵送	HPに掲載	郵送

※1: 18歳以上の市民を無作為抽出

※2: 「まちづくり総合プラン2016～2019」における各種団体意見交換の対象団体。(私企業、公共機関を除く)

2 調査の概況

2-1. 回収率、回答者の属性

(1) 回収率等

①回収率

- ・市民アンケートの回収数は1,032で、回収率は51.6%だった。
- ・インターネットアンケートの回収数は517だった。
- ・団体アンケートの回収数は42で、回収率は77.8%だった。

■回収率

	市民アンケート	インターネットアンケート	団体アンケート
対象	2,000人	本市HP閲覧者	各種団体(54団体)
回収数	1,032	517	42
回収率	51.6%	—	77.8%

②標本誤差

- ・市民アンケート調査の標本誤差は最大で3.1%だった。回答者の年代区分別にみると、標本数(回収数)が少ない「18～39歳」で標本誤差が8.3%だった。
- ・インターネットアンケート調査の標本誤差は最大で4.3%だった。回答者の年代別にみると、標本数(回収数)が少ない「60歳以上」で標本誤差が12.8%だった。

■標本誤差

		全体	年代区分		
			18～39歳	40～59歳	60歳以上
	母集団	99,906	22,740	27,464	49,702
市民アンケート	標本数(回収数)	997	140	273	584
	標本誤差(最大)	3.1%	8.3%	5.9%	4.0%
インターネットアンケート	標本数(回収数)	513	154	300	59
	標本誤差(最大)	4.3%	7.9%	5.6%	12.8%

(2) 回答者の属性

①性別・属性

- ・市民アンケートの回答者を性別にみると、「男性」が36.3%、「女性」が57.8%である。年代別にみると、「18～39歳」が13.5%、「40～59歳」が26.5%、「60歳以上」が56.7%で、60歳以上の割合が最も高い。
- ・インターネットアンケートの回答者を性別にみると、「男性」が61.9%、「女性」が36.2%である。年代別にみると、「18～39歳」が30.0%、「40～59歳」が58.0%、「60歳以上」が11.4%で、40歳代から50歳代の割合が最も高い。

■性別及び年齢

		市民アンケート		インターネットアンケート		人口比率 ※1
回収数		1,032	100%	517	100%	
性別	男性	375	36.3%	320	61.9%	45.5%
	女性	596	57.8%	187	36.2%	54.6%
	不詳	61	5.9%	10	1.9%	
年代	18～39歳	139	13.5%	※2 155	30.0%	22.8%
	40～59歳	273	26.5%	300	58.0%	33.5%
	60歳以上	585	56.7%	59	11.4%	49.7%
	不詳	35	3.4%	3	0.6%	

※1: 18歳以上の大牟田市民における人口比率(H30.4.1現在 住民基本台帳)

※2: 17歳以下(1名)を含む

②通算居住年数

- ・市民アンケートの回答者を通算居住年数別にみると、最も割合が高いのは「20年以上」で81.6%である。
- ・インターネットアンケートの回答者を通算居住年数別にみると、最も割合が高いのは「20年以上」で76.8%である。なお、市外居住者の回答は約9%となっている。

■通算居住年数

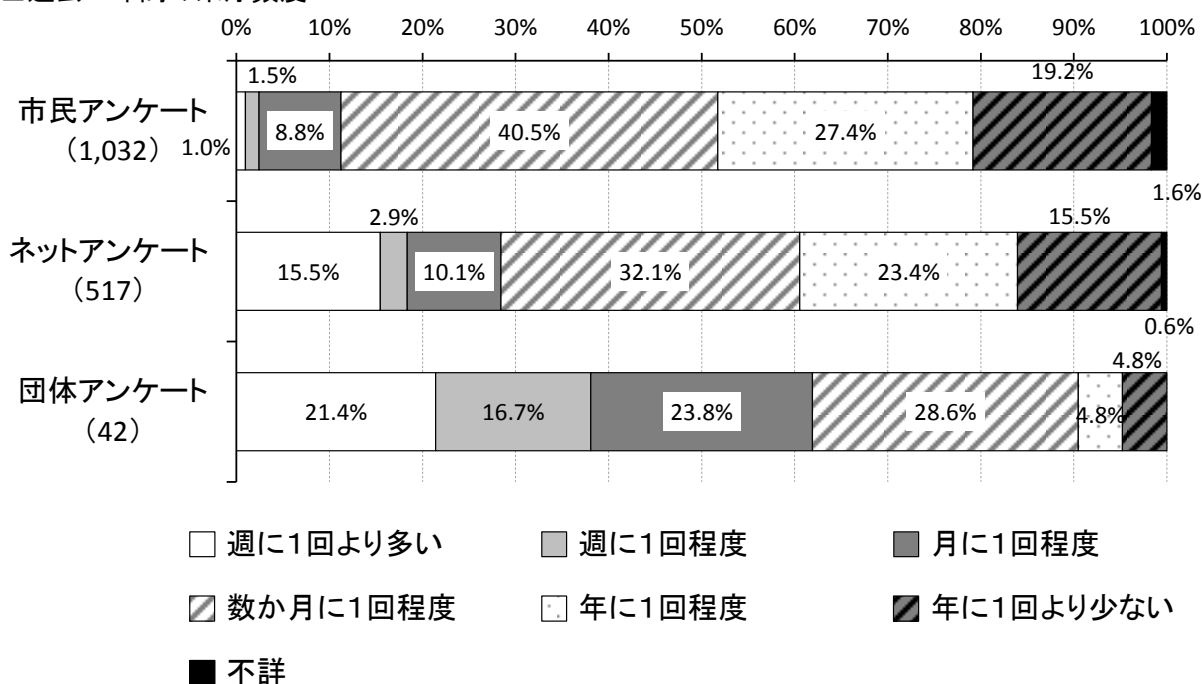
		市民アンケート		インターネットアンケート	
回収数		1,032	100%	517	100%
通算居住年数	5年未満	31	3.0%	14	2.7%
	5～9年	28	2.7%	12	2.3%
	10～19年	82	7.9%	44	8.5%
	20年以上	842	81.6%	397	76.8%
	市外に居住			47	9.1%
	不詳	49	4.7%	3	0.6%

2-2. 各設問の集計結果

問1. 過去3年の間、どのくらいの頻度で、市庁舎に訪れていますか。(○は1つ)

- ・市民アンケートで最も割合が高いのは「数か月に1回程度」で40.5%、次いで「年に1回程度」が27.4%である。
- ・インターネットアンケートで最も割合が高いのは「数か月に1回程度」で32.1%、次いで「年に1回程度」が23.4%である。
- ・団体アンケートで最も割合が高いのは「数か月に1回程度」で28.6%、次いで「月に1回程度」が23.8%と、市民アンケート、インターネットアンケートの結果と比較して、来庁頻度が高い傾向だった。

■過去3年間の来庁頻度



■集計表

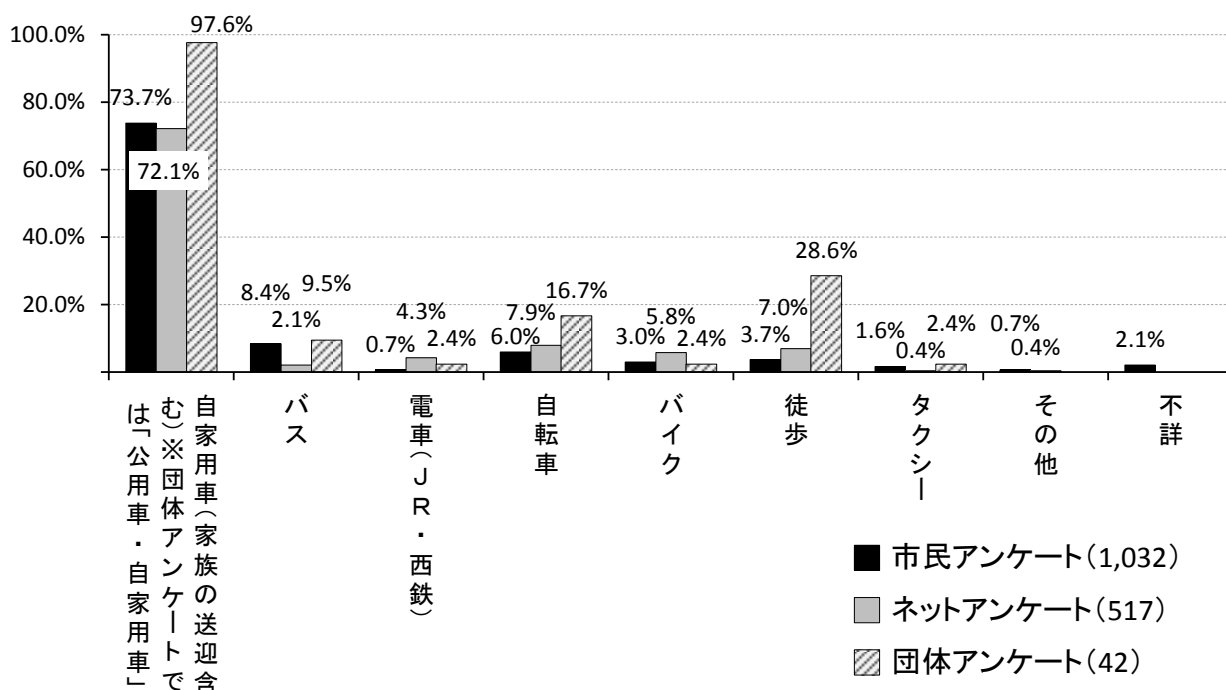
	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 週に1回より多い	10	1.0%	80	15.5%	9	21.4%
2. 週に1回程度	15	1.5%	15	2.9%	7	16.7%
3. 月に1回程度	91	8.8%	52	10.1%	10	23.8%
4. 数か月に1回程度	418	40.5%	166	32.1%	12	28.6%
5. 年に1回程度	283	27.4%	121	23.4%	2	4.8%
6. 年に1回より少ない	198	19.2%	80	15.5%	2	4.8%
不詳	17	1.6%	3	0.6%	0	0.0%

※75%以上は黒色の網掛け、50%以上は灰色の網掛けで表示（以降同様）

問2. 市庁舎を訪れる場合の主な交通手段は何ですか。(〇は1つ)

・いずれのアンケートも、最も割合が高いのは「自家用車」で、それぞれ73.7%、72.1%、97.6%である。

■来庁する場合の主な交通手段【団体のみ複数回答】



※団体アンケートについては、「その他」に「自家用車」の記述が多数あったため、集計上は「自家用車」の選択肢にカウントした。

■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 自家用車(家族の送迎含む) ※団体アンケートは「公用車」	761	73.7%	373	72.1%	41	97.6%
2. バス	87	8.4%	11	2.1%	4	9.5%
3. 電車(JR・西鉄)	7	0.7%	22	4.3%	1	2.4%
4. 自転車	62	6.0%	41	7.9%	7	16.7%
5. バイク	31	3.0%	30	5.8%	1	2.4%
6. 徒歩	38	3.7%	36	7.0%	12	28.6%
7. タクシー	17	1.6%	2	0.4%	1	2.4%
その他	7	0.7%	2	0.4%	0	0.0%
不詳	22	2.1%	0	0.0%	0	0.0%

※団体アンケートのみ複数回答

■「その他」の内容

(市民アンケート)

社用車	2
親と自家用車で	1
姉の車	1
代理	1
家族に行ってもら	1

(ネットアンケート)

自家用車・徒歩・バイク	1
公用車	1

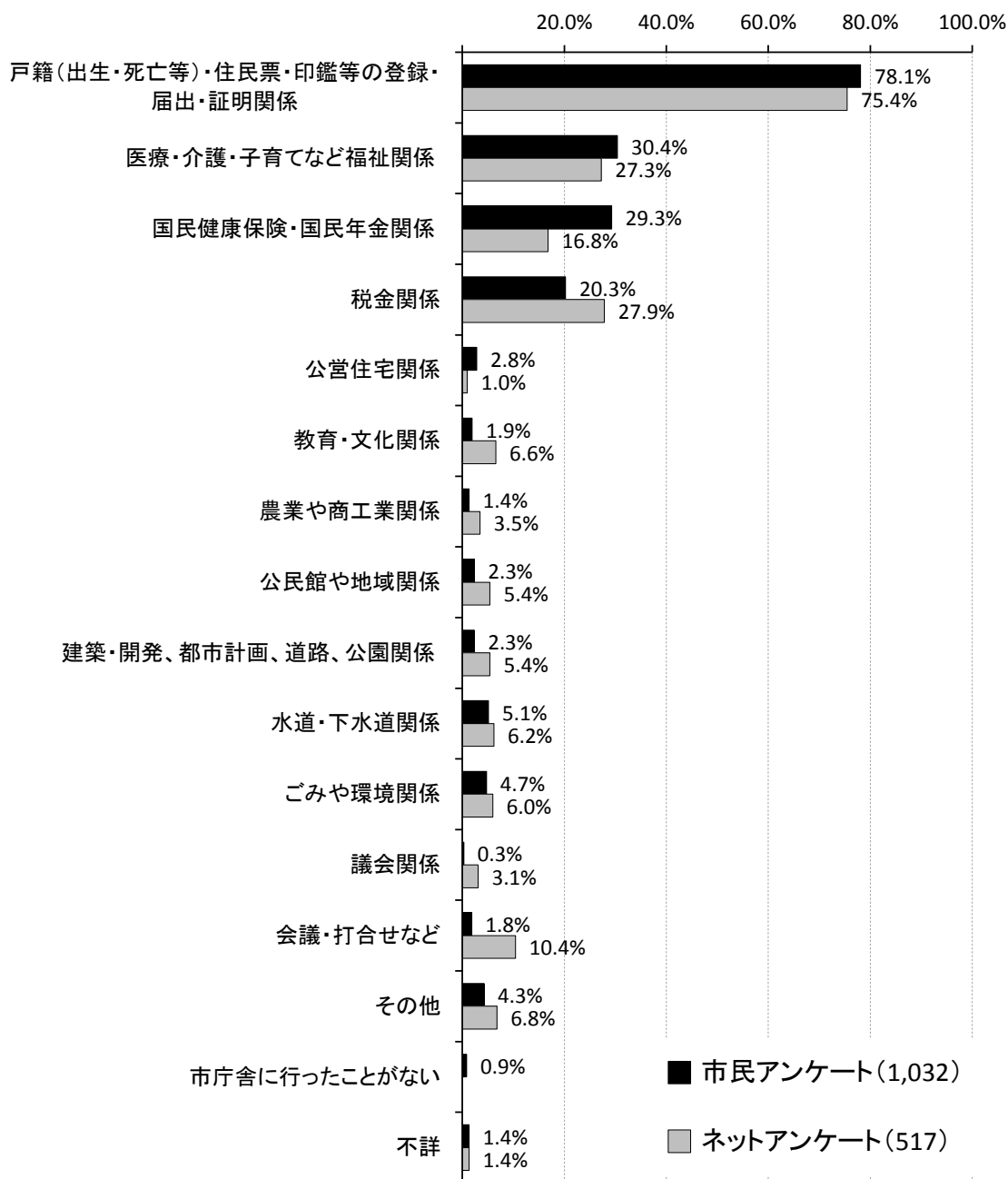
(団体アンケート)

特に無し	—
------	---

問3. 主にどのような目的で、市庁舎に訪れていますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・市民アンケート、インターネットアンケートともに最も割合が高いのは「戸籍・住民票・印鑑等の登録・届出・証明関係」で、それぞれ78.1%、75.4%である。
- ・次いで割合が高いのは、いずれのアンケートも「医療・介護・子育てなど福祉関係」、「国民健康保険・国民年金関係」、「税金関係」となっており、市民部及び保健福祉部の窓口利用が大半を占めている。

■ 来庁の主な目的【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート	
	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517	
1. 戸籍（出生・死亡等）・住民票・印鑑等の登録・届出・証明関係	806	78.1%	390	75.4%
2. 医療・介護・子育てなど福祉関係	314	30.4%	141	27.3%
3. 国民健康保険・国民年金関係	302	29.3%	87	16.8%
4. 税金関係	209	20.3%	144	27.9%
5. 公営住宅関係	29	2.8%	5	1.0%
6. 教育・文化関係	20	1.9%	34	6.6%
7. 農業や商工業関係	14	1.4%	18	3.5%
8. 公民館や地域関係	24	2.3%	28	5.4%
9. 建築・開発、都市計画、道路、公園関係	24	2.3%	28	5.4%
10. 水道・下水道関係	53	5.1%	32	6.2%
11. ごみや環境関係	49	4.7%	31	6.0%
12. 議会関係	3	0.3%	16	3.1%
13. 会議・打合せなど	19	1.8%	54	10.4%
14. その他	44	4.3%	35	6.8%
15. 市役所に行ったことがない	9	0.9%	0	0.0%
不詳	14	1.4%	7	1.4%

■「その他」の内容

（市民アンケート）

届出・証明関係・申請等	9
仕事の関係等	4
選挙等	4
他者の同行	4
法務局	3
納税	2
保護課	2
保健所	2
勤務	2
その他	11

（団体アンケート）

仕事の関係	8
研修	1
議会関係	1

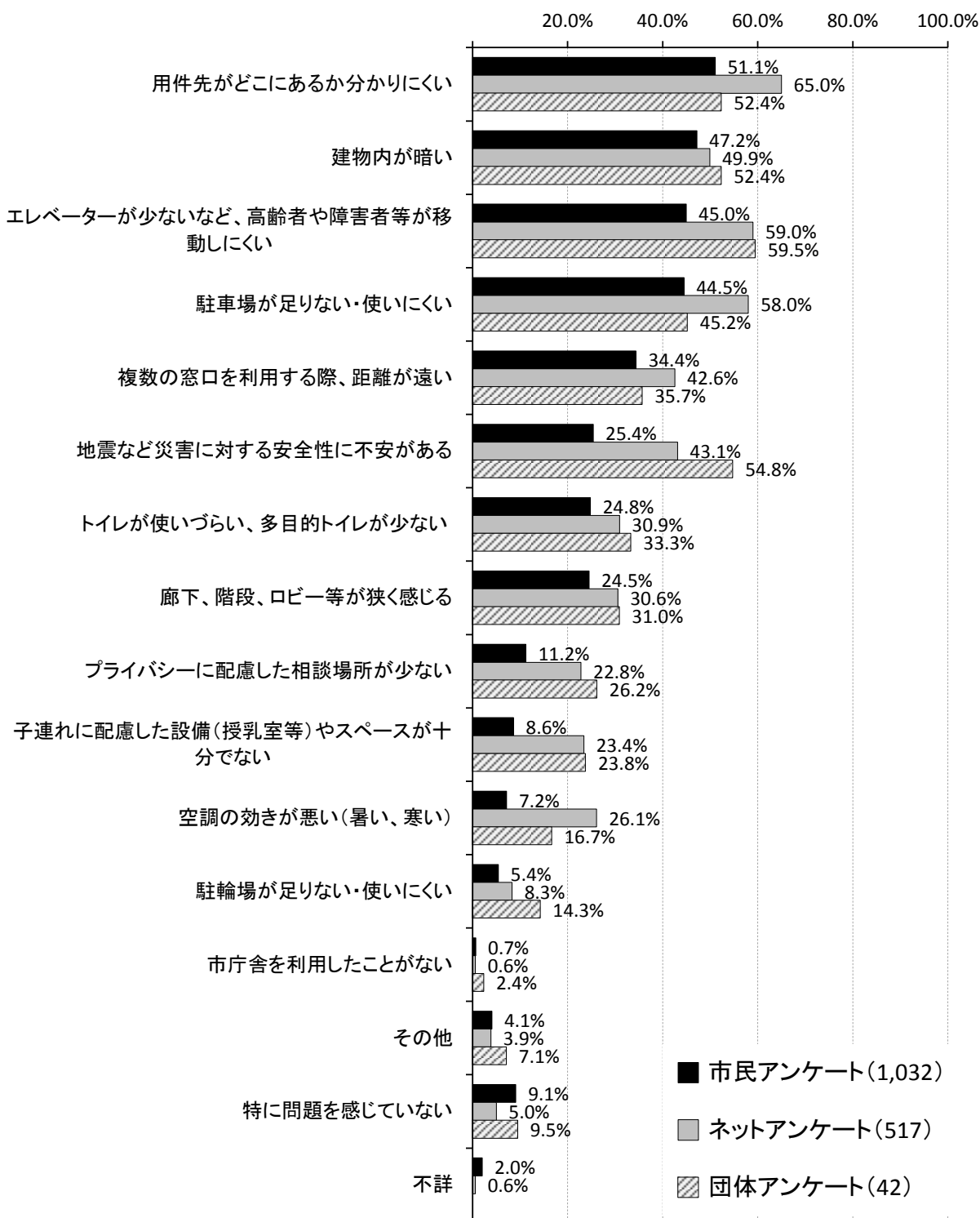
（ネットアンケート）

勤務	5
仕事	5
試験	3
ボランティア	2
健康診断	2
選挙	1
保健所	1
職員厚生関係	1
資料閲覧	1
手続き	1
草刈り機の借用	1
最近行っていない	1

問 4. 市庁舎を利用して困ったこと、不便に感じたことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- ・ 3つのアンケートで共通して割合が高いのは「用件先がどこにあるか分かりにくい」、「建物内が暗い」、「エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が移動しにくい」、「駐車場が足りない・使いにくい」である。
- ・ 「地震など災害に対する安全性に不安がある」は、インターネットアンケート及び団体アンケートで割合が高く、それぞれ 43.1%、54.8%となっている。

■市庁舎の利用で困ったこと、不便に感じたこと【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517		42	
1. 用件先がどこにあるか分かりにくい	527	51.1%	336	65.0%	22	52.4%
2. 複数の窓口を利用する際、距離が遠い	355	34.4%	220	42.6%	15	35.7%
3. プライバシーに配慮した相談場所が少ない	116	11.2%	118	22.8%	11	26.2%
4. 廊下、階段、ロビー等が狭く感じる	253	24.5%	158	30.6%	13	31.0%
5. エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が移動しにくい	464	45.0%	305	59.0%	25	59.5%
6. 地震など災害に対する安全性に不安がある	262	25.4%	223	43.1%	23	54.8%
7. 子連れに配慮した設備（授乳室等）やスペースが十分でない	89	8.6%	121	23.4%	10	23.8%
8. 建物内が暗い	487	47.2%	258	49.9%	22	52.4%
9. トイレが使いづらい、多目的トイレが少ない	256	24.8%	160	30.9%	14	33.3%
10. 空調の効きが悪い（暑い、寒い）	74	7.2%	135	26.1%	7	16.7%
11. 駐車場が足りない・使いにくい	459	44.5%	300	58.0%	19	45.2%
12. 駐輪場が足りない・使いにくい	56	5.4%	43	8.3%	6	14.3%
13. 特に問題を感じていない	94	9.1%	26	5.0%	4	9.5%
14. 市庁舎を利用したことがない	7	0.7%	3	0.6%	1	2.4%
15. その他	42	4.1%	20	3.9%	3	7.1%
不詳	21	2.0%	3	0.6%	0	0.0%

■「その他」の内容

(市民アンケート)

迷路みたい、わかりにくい	7
駐車場が使いにくい	6
階段が急	4
職員の対応が悪い	4
特になし	3
暗い	2
身体が不自由な人には使いにくい、段差が多い	2
エレベーターが使いにくい	2
バス停まで遠い	1
清潔感がない	1
庁舎内の統一性がない	1
床が滑りやすい	1
イスが少ない	1
待ち時間が長い	1
日曜に開いていない	1
満足している	1
わからない	1
食堂利用者も駐車券を発行してほしい	1
最近家族がいく	1

(ネットアンケート)

階段が急	3
駐車場が使いにくい	3
狭い	2
暗い	2
使いにくい	1
WiFiがない	1
市民サービスの質が低い	1
温水便座が無い	1
会議室が足りない	1
床が滑りやすい	1
職員の勤務態度が悪い	1
開館時間が短い	1
個人情報の保護が課題	1
その他	1

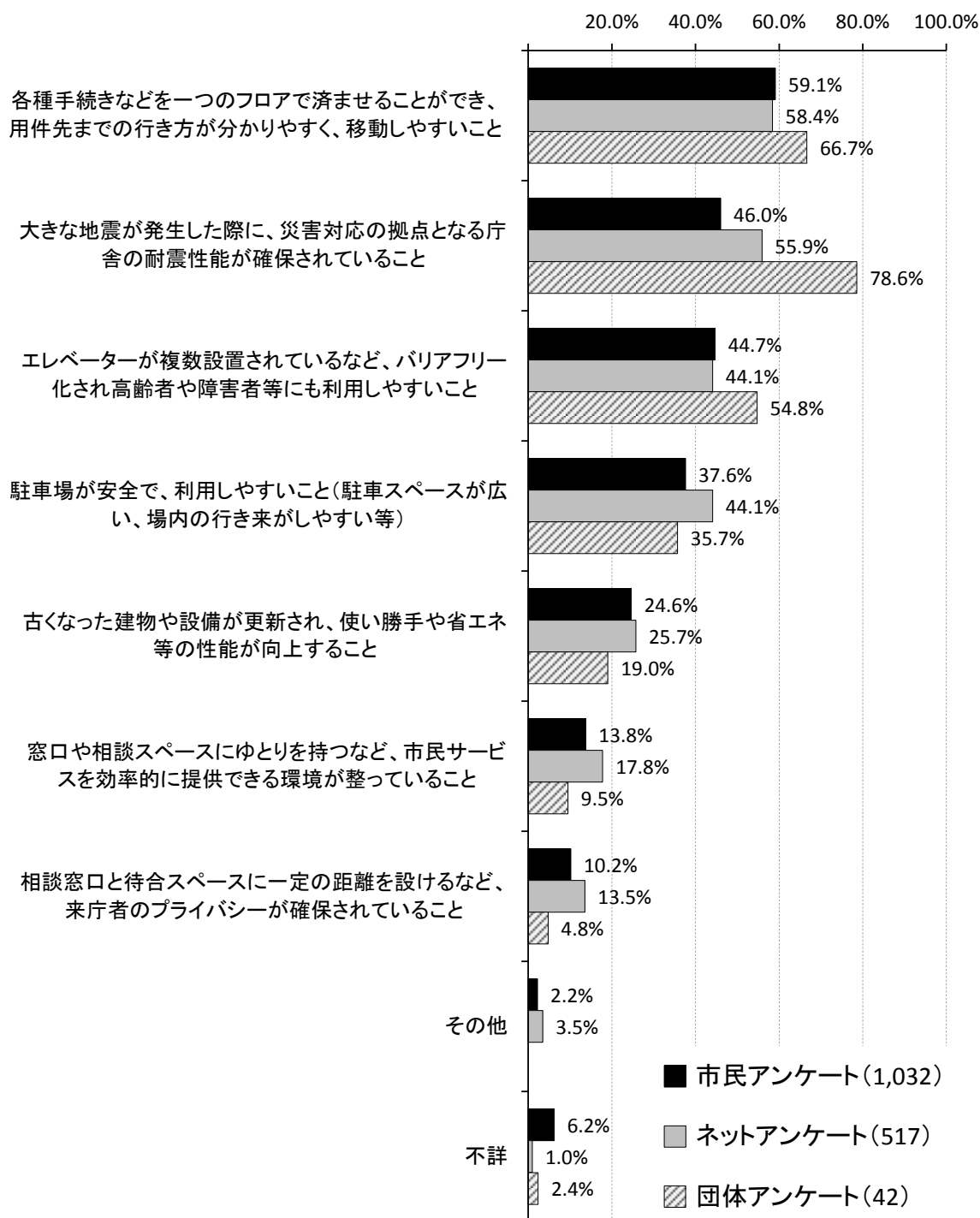
(団体アンケート)

総合案内の場所が悪い	2
移動しにくい	2
雑然としている	1

問5. 市庁舎に求めるものを次の中から選んでください。(〇は3つ以内)

- ・市民アンケートとインターネットアンケートで最も割合が高いのは「各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと」で、それぞれ 59.1%、58.4%である。
- ・団体アンケートで最も割合が高いのは「大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となる庁舎の耐震性能が確保されていること」で 78.6%となっている。

■市庁舎に求めるもの【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517		42	
1. 大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となる庁舎の耐震性能が確保されていること	475	46.0%	289	55.9%	33	78.6%
2. 古くなった建物や設備が更新され、使い勝手や省エネ等の性能が向上すること	254	24.6%	133	25.7%	8	19.0%
3. 各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと	610	59.1%	302	58.4%	28	66.7%
4. 相談窓口と待合スペースに一定の距離を設けるなど、来庁者のプライバシーが確保されていること	105	10.2%	70	13.5%	2	4.8%
5. エレベーターが複数設置されているなど、バリアフリー化され高齢者や障害者等にも利用しやすいこと	461	44.7%	228	44.1%	23	54.8%
6. 駐車場が安全で、利用しやすいこと（駐車スペースが広い、場内の行き来がしやすい等）	388	37.6%	228	44.1%	15	35.7%
7. 窓口や相談スペースにゆとりを持つなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が整っていること	142	13.8%	92	17.8%	4	9.5%
8. その他	23	2.2%	18	3.5%	0	0.0%
不詳	64	6.2%	5	1.0%	1	2.4%

■「その他」の内容

(市民アンケート)

駐車場の誘導、使いやすさの向上	4
歴史的建物としての保存	4
今のままでよい	3
耐震性	1
快適な設備	1
ソフト面のサービス向上	1
バリアフリー化・階段上り下りの解消	1
IT化・セキュリティ強化	1
案内機能の充実	1
選択肢2,7以外は当たり前ではないのか	1
選択肢全部求める	1
耐震強度は誰が測定したのか明確にしてほしい	1
特になし	1

(ネットアンケート)

誇りと愛着のあるシンボル、ランドマーク	2
歴史的荘厳さ	2
今のままでよい	2
災害時に人命を守ること	1
明るい空間	1
建て替え	1
コンパクト化、分散化	1
コミュニティ空間	1
タッチパネルの案内板	1
使い勝手のよさ	1
働きやすさ	1
職員の真心のある対応	1
無駄な経費をつかわないこと	1
アンケートの内容が誘導的	1

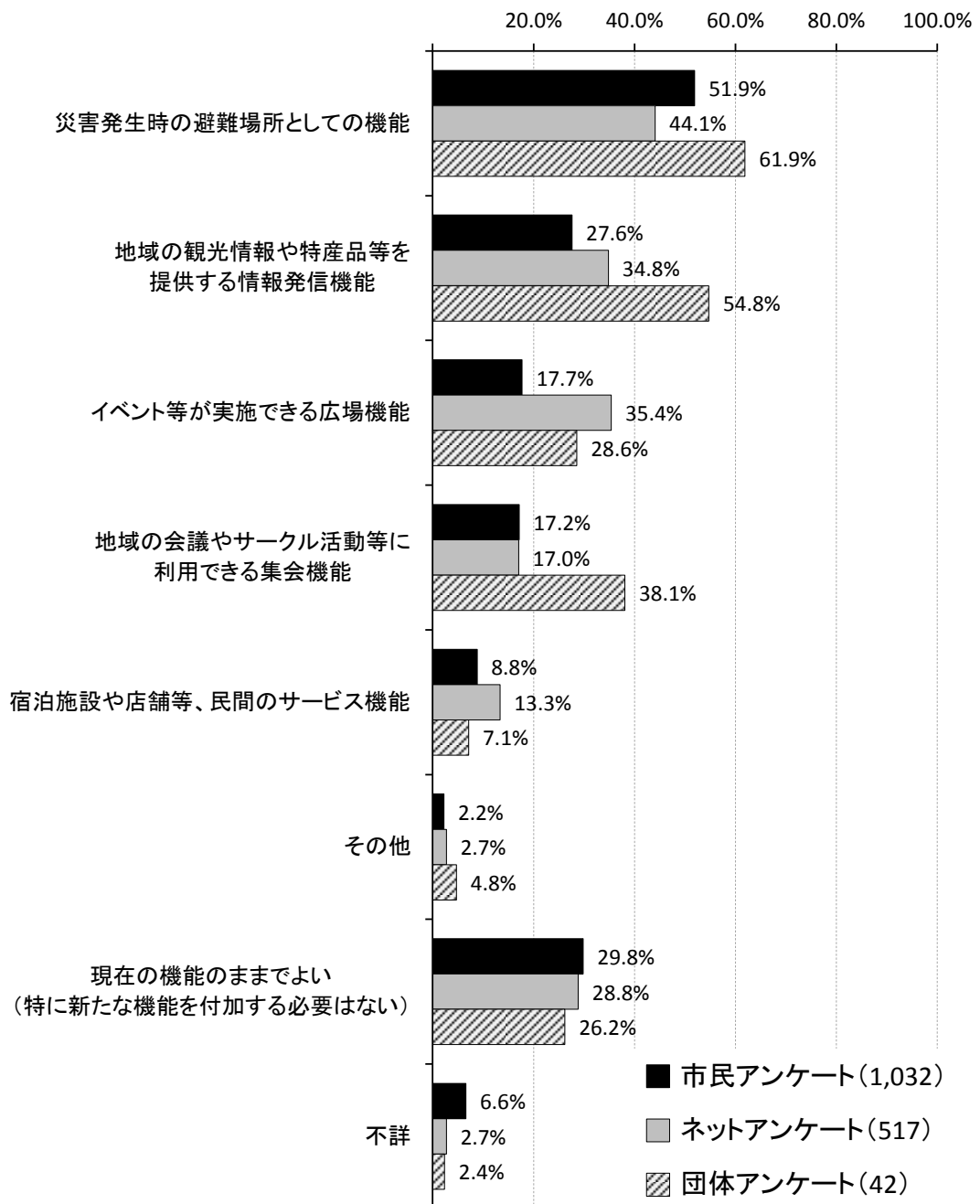
(団体アンケート)

特に無し	—
------	---

問6. 市庁舎にあった方がよいと思う機能に○を付けてください。(○は3つ以内)

- ・ 3つのアンケートで共通して最も割合が高いのは「災害発生時の避難場所としての機能」で、市民が51.9%、インターネットが44.1%、団体が61.9%である。
- ・ 次いで割合が高いのは「地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能」、「イベント等が実施できる広場機能」であるが、市民アンケートと比較して、インターネットアンケートや団体アンケートで割合が高い。
- ・ 来庁頻度が多い団体アンケートをみると、他のアンケートと比較して「地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能」の割合が高い。
- ・ 一方、「現在の機能のままでよい（特に新たな機能を付加する必要はない）」と答えた割合は、いずれも30%近くになった。

■市庁舎にあった方がよい機能【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517		42	
1. 災害発生時の避難場所としての機能	536	51.9%	228	44.1%	26	61.9%
2. 地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能	177	17.2%	88	17.0%	16	38.1%
3. イベント等が実施できる広場機能	183	17.7%	183	35.4%	12	28.6%
4. 地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能	285	27.6%	180	34.8%	23	54.8%
5. 宿泊施設や店舗等、民間のサービス機能	91	8.8%	69	13.3%	3	7.1%
6. 現在の機能のままでよい（特に新たな機能を付加する必要はない）	308	29.8%	149	28.8%	11	26.2%
7. その他	23	2.2%	14	2.7%	2	4.8%
不詳	68	6.6%	14	2.7%	1	2.4%

■「その他」の内容

（市民アンケート）

必要最小限、シンプルでよい	5
部署・機能がわかる案内	2
わかりやすい受付	1
十分な備蓄倉庫	1
エネルギーをつくる施設	1
フードスペースやカフェ等	1
情報展示スペース	1
ソフト面の充実	1
ふるさと納税関連	1
IT・セキュリティ対策のための機能	1
資料を保存するための設備	1
ATM	1
他施設との連携強化	1
行動しやすい施設	1
循環バス	1
付加する必要はない	1
何のための設問か	1

（ネットアンケート）

施設の集約化、コンパクト化	3
食堂	3
歴史を感じさせる意匠	2
図書館	1
会議室・大会議室	1
災害対応拠点	1
変化に合わせて変化できる融通の利く空間	1
災害時も自給自足できる設備	1
潤いと緑の空間	1
コンビニ	1
観光発信をする機能	1
アオーレ長岡のような感じ	1
無駄なものはいらない	1
アンケートの内容が誘導的	1

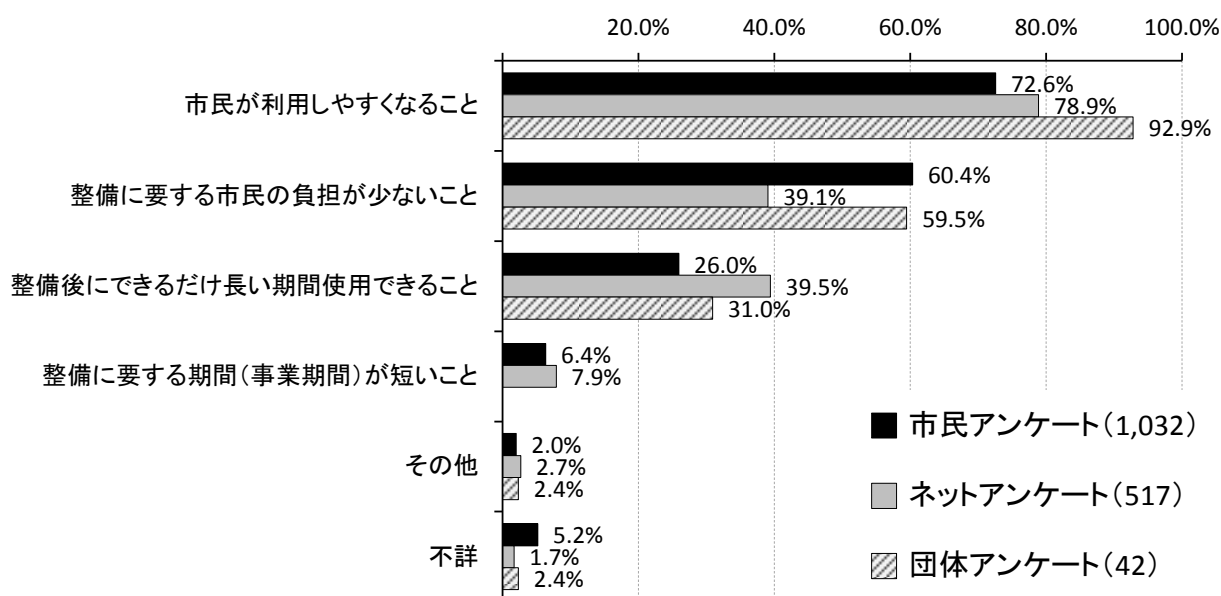
（団体アンケート）

IT化による合理化	1
-----------	---

問 7. 市庁舎の整備手法（改修、建替え）を決定するにあたり、重要だと思う視点に○を付けてください。（○は2つ以内）

- ・ 3つのアンケートで共通して最も割合が高いのは「市民が利用しやすくなること」で、市民が72.6%、インターネットが78.9%、団体が92.9%である。
- ・ 次いで割合が高いのは、市民アンケートと団体アンケートでは「整備に要する市民の負担が少ないこと」、インターネットアンケートでは「整備後にできるだけ長い期間使用できること」となっている。

■市庁舎の整備手法決定で重要と思う視点【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517		42	
1. 市民が利用しやすくなること	749	72.6%	408	78.9%	39	92.9%
2. 整備に要する市民の負担が少ないこと	623	60.4%	202	39.1%	25	59.5%
3. 整備に要する期間(事業期間)が短いこと	66	6.4%	41	7.9%	0	0.0%
4. 整備後にできるだけ長い期間使用できること	268	26.0%	204	39.5%	13	31.0%
5. その他	21	2.0%	14	2.7%	1	2.4%
不詳	54	5.2%	9	1.7%	1	2.4%

■「その他」の内容

(市民アンケート)

歴史的建造物の保存	3
市の財政状況に合った手法の選択	3
バリアフリー化や駐車場の整備等利用しやすい施設にすること	3
市民の負担軽減	2
シンボリック建物になること	2
情報の公開	1
市民のために費用を使うこと	1
今のままでいい	1
長期的観点	1
工法	1
もう決まったことですか	1

(ネットアンケート)

早く建て替えるべき	1
周辺地域の活性化への貢献	1
交通利便性の向上	1
旧市街地の発展	1
道路の整備	1
歴史的建物として活用	1
今のままでよい	1
費用をかけないこと	1
市のシンボルとしての外観	1
使いやすい内観	1

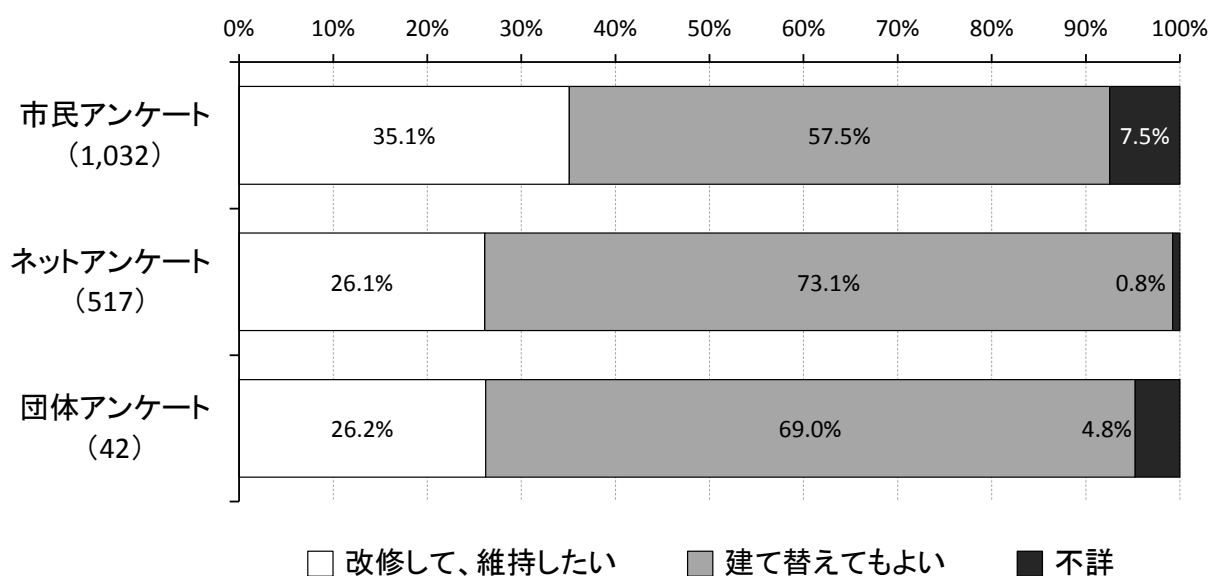
(団体アンケート)

歴史的な財産としての価値づけ	1
----------------	---

問8. 本館について、「改修して、維持したい」と思いますか、それとも「建て替えてもよい」と思いますか。(〇は1つ)

- ・3つのアンケートとも「建て替えてもよい」の割合が「改修して、維持したい」よりも高く、市民が57.5%、インターネットが73.1%、団体が69.0%である。

■本館の整備手法



■集計表

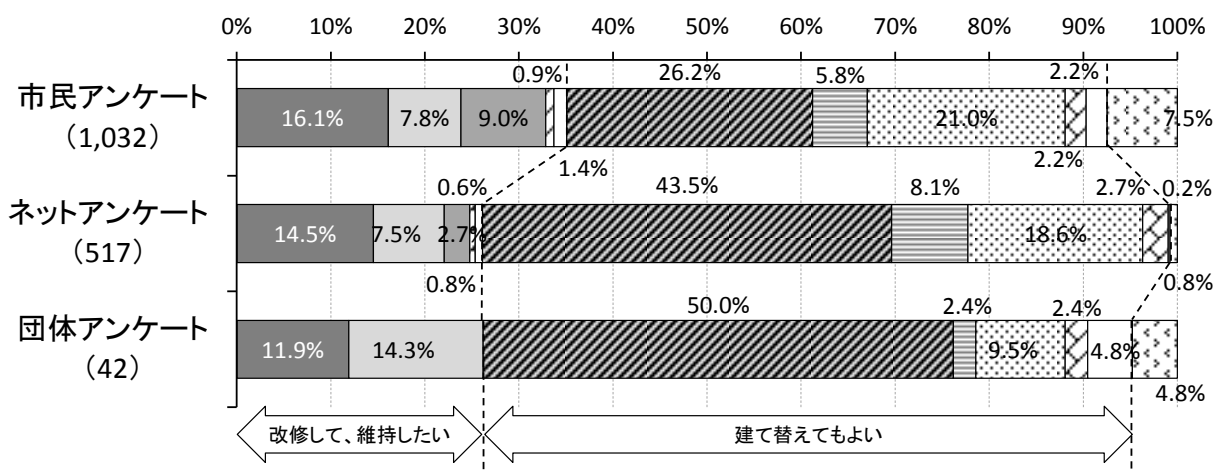
	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 改修して、維持したい	362	35.1%	135	26.1%	11	26.2%
2. 建て替えてもよい	593	57.5%	378	73.1%	29	69.0%
不詳	77	7.5%	4	0.8%	2	4.8%

問 8-1. 問8で「1」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。
(○は1つ)

問 8-2. 問8で「2」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。
(○は1つ)

- ・「改修して、維持したい」を選んだ理由で最も割合が高いのは、市民アンケートとインターネットアンケートは「歴史的価値が高いと思うから」で、団体アンケートは「まちのシンボルだと思うから」となっている。
- ・「建て替えてもよい」を選んだ理由で最も割合が高いのは、3つのアンケートとも「建て替えると庁舎の機能（防災拠点やバリアフリー化等）が向上すると思うから」となっており、特に団体とインターネットで割合が高い。

■問8で「1」または「2」を選んだ理由



- | | |
|-------|--|
| 改修・維持 | <input type="checkbox"/> 歴史的価値が高いと思うから |
| | <input type="checkbox"/> まちのシンボルだと思うから |
| | <input type="checkbox"/> 改修の方が、整備費用が安いと思うから |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| | <input type="checkbox"/> 理由不詳(改修) |
| 建て替え | <input checked="" type="checkbox"/> 建て替えると庁舎の機能(防災拠点やバリアフリー化等)が向上すると思うから |
| | <input type="checkbox"/> 新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから |
| | <input checked="" type="checkbox"/> その他 |
| | <input type="checkbox"/> 理由不詳(建替) |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 不詳(問8) |

■集計表（問 8-1）

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	362	35.1%	135	26.1%	11	26.2%
1. 歴史的価値が高いと思うから	166	16.1%	75	14.5%	5	11.9%
2. まちのシンボルだと思うから	80	7.8%	39	7.5%	6	14.3%
3. 改修の方が、整備費用が安いと思うから	93	9.0%	14	2.7%	0	0.0%
4. その他	9	0.9%	3	0.6%	0	0.0%
不詳	14	1.4%	4	0.8%	0	0.0%

■「その他」の内容

（市民アンケート）

人口が減少しているから	3
お金の無駄だから	2
市民に負担がかからないようにするため	1
市役所の在り方を考えたから	1
歴史的建物を残したいから	1
周辺環境が建替えに不適切だから	1
コンパクトに考えてほしいから	1

（ネットアンケート）

改修して使い勝手の良い庁舎にしてほしいから	1
公共施設の集約化が必要だから	1
その他	2

（団体アンケート）

特に無し	—
------	---

■集計表（問 8-2）

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	593	57.5%	378	73.1%	29	69.0%
1. 建て替えると庁舎の機能（防災拠点やバリアフリー化等）が向上すると思うから	270	26.2%	225	43.5%	21	50.0%
2. 新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから	60	5.8%	42	8.1%	1	2.4%
3. 建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから	217	21.0%	96	18.6%	4	9.5%
4. その他	23	2.2%	14	2.7%	1	2.4%
不詳	23	2.2%	1	0.2%	2	4.8%

■その他の内容

（市民アンケート）

機能の集約化・充実・効率化等のため	5
耐震性確保のため	3
新しい方が明るくなり、快適だから	3
駐車場を使いやすくするため	2
利便性を向上させるため	2
バリアフリー化のため	2
災害時に対応するため	1
土地を売却して建替え費用を得るため	1
改修では使いやすくないと思うため	1
維持費軽減のため	1
階数を低くできるから	1
今の建物はちがう使い方などできないか	1
玄関部分をモニュメントとして保存	1
全て、そもそも古すぎる	1
シンボルとして何等かを残して欲しい	1
安心して相談できるスペースがほしい	1
一部デザインを取り入れた建替え	1
シンボルを保つ	1
管理物件が増えているのにはおどろく	1

（ネットアンケート）

歴史的建物は別に残したい	4
維持費を安くするため	2
市役所に求められる機能と役割が昔と大きく変わったから	1
形あるものいつかは壊れるから	1
長く使うため	1
使いやすく明るい建物にしたいから	1
ユニバーサルデザインの建物にしたいから	1
災害対策	1
コンパクトな施設でいいと思うから	1
庁舎で働く人の命を守ることが大切だから	1
施設の集約化ができるから	1
玉名市役所みたいに	1
本館がどこを言うのかわからない	1
こだわりは捨てるべき	1

（団体アンケート）

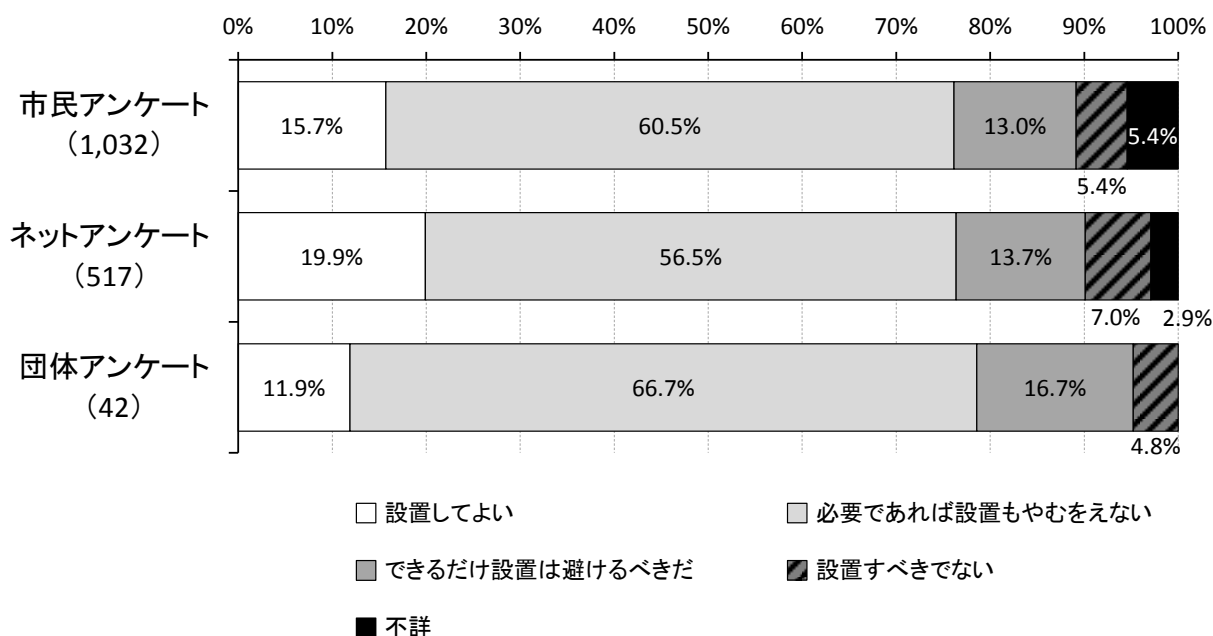
人口減少にて、IT化を促進すれば本館、新館は不要	1
--------------------------	---

問 9. 建て替える場合は、市民サービスを継続するために仮庁舎を設置する場合があります。設置には一定の費用が必要となりますが、現在地も建設場所の候補地となります。

「仮庁舎の設置」について、どのように考えますか。(〇は1つ)

- ・ 3つのアンケートとも「必要であれば設置もやむをえない」の割合が最も高く、市民が 60.5%、インターネットが 56.5%、団体が 66.7%である。
- ・ 「必要であれば設置もやむをえない」と「設置してよい」を合計すると、市民は 76.2%、インターネットは 76.4%、団体は 78.6%と高い割合を占める。

■ 「仮庁舎の設置」に対する考え



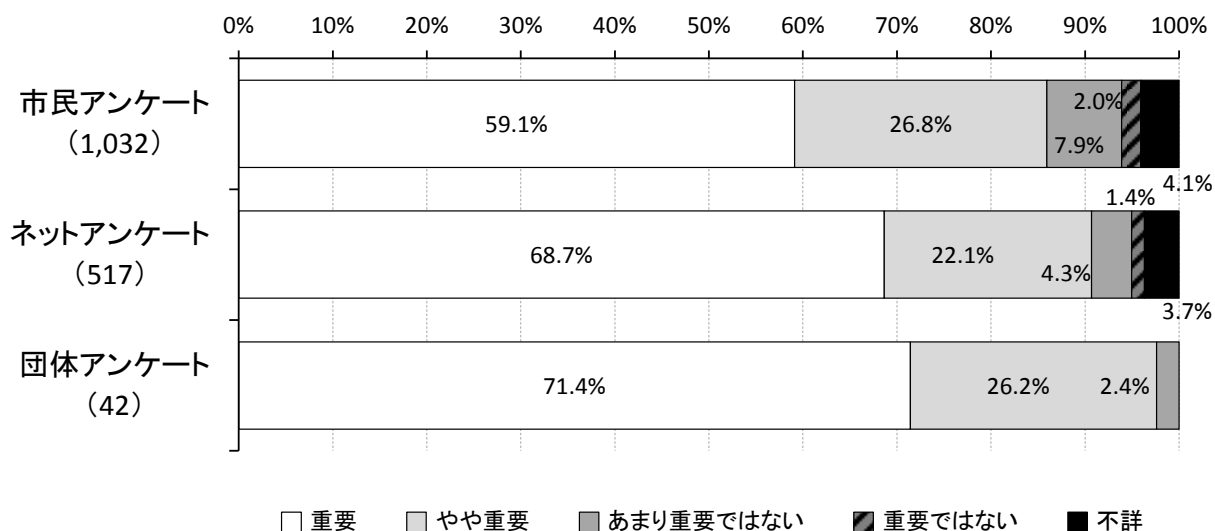
■ 集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 設置してもよい	162	15.7%	103	19.9%	5	11.9%
2. 必要であれば設置もやむをえない	624	60.5%	292	56.5%	28	66.7%
3. できるだけ設置は避けるべきだ	134	13.0%	71	13.7%	7	16.7%
4. 設置すべきではない	56	5.4%	36	7.0%	2	4.8%
不詳	56	5.4%	15	2.9%	0	0.0%

問 10. 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「公共交通の利便性（電車・バスなど）の確保」は重要だと思いますか。（○は1つ）

- ・ 3つのアンケートとも「重要」の割合が最も高く、市民が 59.1%、インターネットが 68.7%、団体が 71.4%とである。
- ・ 「重要」と「やや重要」を合計すると、市民は 85.9%、インターネットは 90.8%、団体は 97.6%と非常に高い割合を占める。

■ 「公共交通の利便性」に対する考え



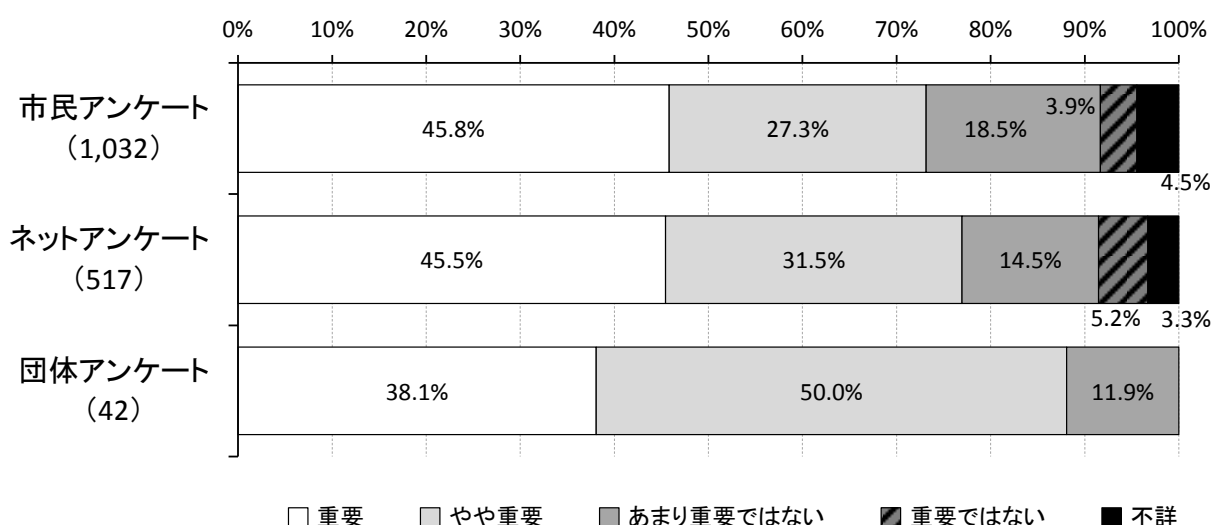
■ 集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 重要	610	59.1%	355	68.7%	30	71.4%
2. やや重要	277	26.8%	114	22.1%	11	26.2%
3. あまり重要ではない	82	7.9%	22	4.3%	1	2.4%
4. 重要ではない	21	2.0%	7	1.4%	0	0.0%
不詳	42	4.1%	19	3.7%	0	0.0%

問 11. 現在の市庁舎は、国道沿いで駅前の目に付きやすい場所にあります。
 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、大通りや駅前などの「分かりやすい場所であること」は重要だと思いますか。(〇は1つ)

- ・最も割合が高いのは、市民アンケートとインターネットアンケートは「重要」で、それぞれ 45.8%、45.5%である。団体アンケートは「やや重要」で 50.0%となっている。
- ・「重要」と「やや重要」を合計すると、市民は 73.1%、インターネットは 77.0%、団体は 88.1%と高い割合を占める。

■「分かりやすい場所であること」に対する考え



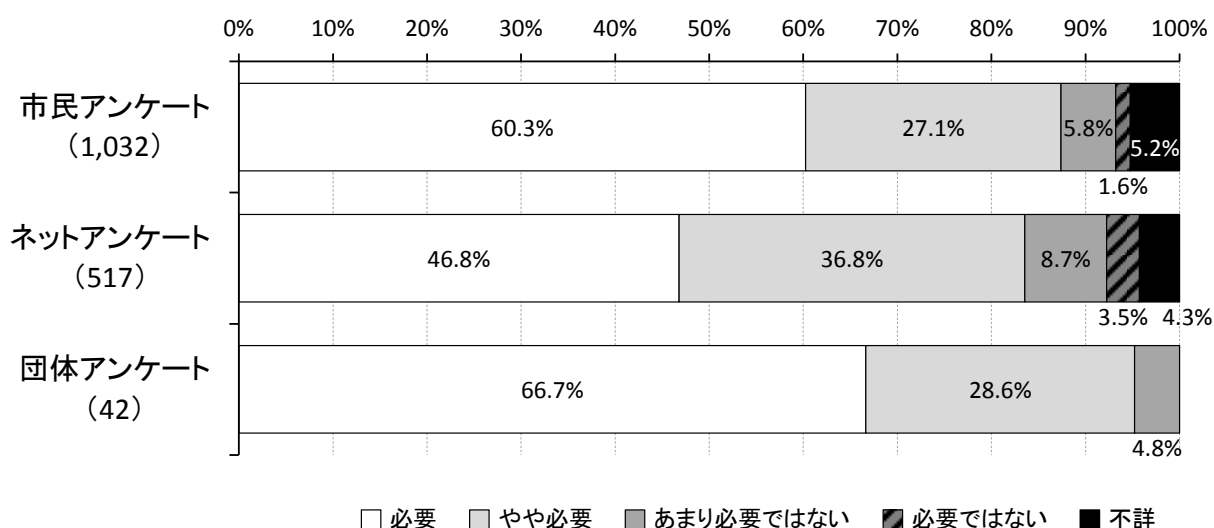
■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 重要	473	45.8%	235	45.5%	16	38.1%
2. やや重要	282	27.3%	163	31.5%	21	50.0%
3. あまり重要ではない	191	18.5%	75	14.5%	5	11.9%
4. 重要ではない	40	3.9%	27	5.2%	0	0.0%
不詳	46	4.5%	17	3.3%	0	0.0%

問 12. 建設場所として既存の市有地を活用する場合、建設候補地は限られますが、土地の取得のための時間と費用が抑えられることが期待できます。
「既存の市有地を活用すること」は必要だと思いますか。(〇は1つ)

- ・ 3つのアンケートとも「必要」の割合が最も高く、市民が 60.3%、インターネットが 46.8%、団体が 66.7%である。
- ・ 「必要」と「やや必要」を合計すると、市民は 87.4%、インターネットは 83.6%、団体は 95.3%と非常に高い割合を占める。

■ 「既存の市有地を活用すること」に対する考え



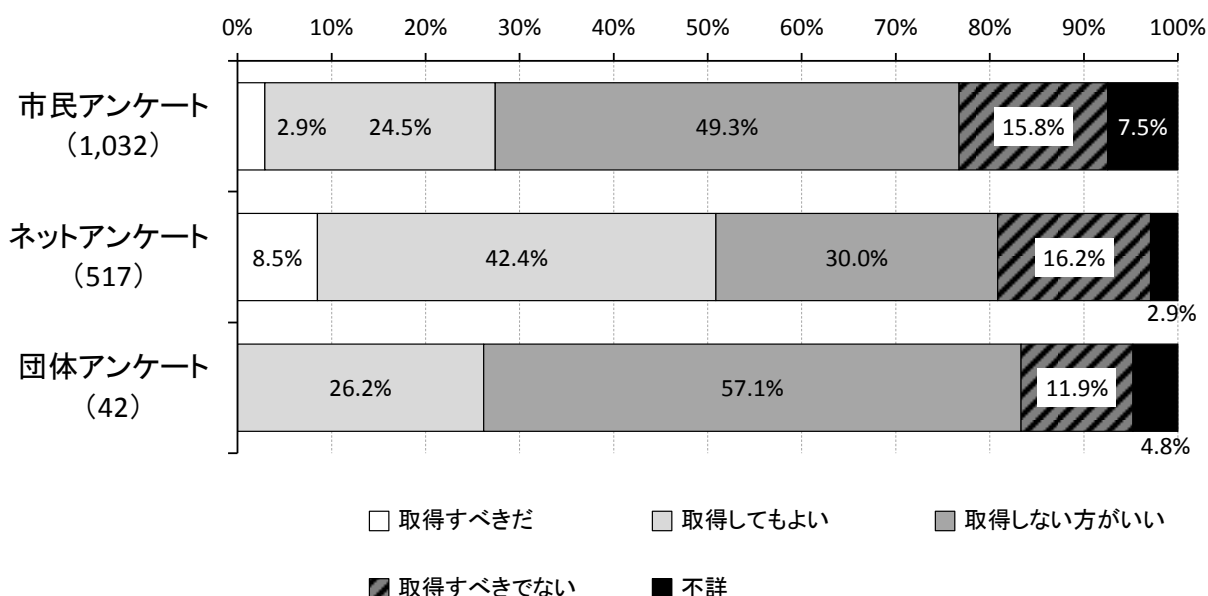
■ 集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 必要	622	60.3%	242	46.8%	28	66.7%
2. やや必要	280	27.1%	190	36.8%	12	28.6%
3. あまり必要ではない	60	5.8%	45	8.7%	2	4.8%
4. 必要ではない	16	1.6%	18	3.5%	0	0.0%
不詳	54	5.2%	22	4.3%	0	0.0%

問 13. 建設場所として街なかや商業施設付近の土地を新規に取得する場合、土地の取得に時間と費用が必要となります。その一方で、既存の市有地に限定する場合に比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。
新規に土地を取得してもよいと思いますか。(○は1つ)

- ・最も割合が高いのは、市民アンケートと団体アンケートは「取得しない方がいい」で、それぞれ49.3%、57.1%である。一方、インターネットアンケートは「取得してもよい」で42.4%となっている。
- ・「取得しない方がいい」と「取得すべきでない」を合計すると、市民は65.1%、インターネットは46.2%、団体は69.0%と、インターネットのみ5割を下回っている。

■「新規に土地を取得すること」に対する考え



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032	100.0%	517	100.0%	42	100.0%
1. 取得すべきだ	30	2.9%	44	8.5%	0	0.0%
2. 取得してもよい	253	24.5%	219	42.4%	11	26.2%
3. 取得しない方がいい	509	49.3%	155	30.0%	24	57.1%
4. 取得すべきでない	163	15.8%	84	16.2%	5	11.9%
不詳	77	7.5%	15	2.9%	2	4.8%

問 14. 問13で「1」または「2」に○を付けた方にお尋ねします。

市が新規に土地を取得する場合、適切と思う場所について、具体的なお提案があれば、記入してください。(自由記述)

- ・市民アンケートで多いのは「新栄町周辺」、「交通の便が良い場所」、「イオン周辺」である。
- ・インターネットアンケートで多いのは「新栄町周辺」、「大牟田駅周辺」、「交通の便が良い場所」、「新大牟田駅周辺」である。

■市が新規に土地を取得する場合に適切と思う場所【自由記述】

○市民アンケート

	問13で1または2と回答	諏訪公園付近	大牟田駅周辺	新大牟田駅周辺	新栄町周辺	文化会館周辺	イオン周辺	ゆめタウン周辺	合同庁舎周辺	現所在地周辺	人が集まる場所	交通の便が良い場所	場所 駐車場が確保できる	その他
総数	63	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	22 34.9%	1 1.6%	10 15.9%	5 7.9%	1 1.6%	7 11.1%	1 1.6%	17 27.0%	7 11.1%	12 19.0%

○インターネットアンケート

	問13で1または2と回答	諏訪公園付近	大牟田駅周辺	新大牟田駅周辺	新栄町周辺	文化会館周辺	イオン周辺	ゆめタウン周辺	合同庁舎周辺	現所在地周辺	人が集まる場所	交通の便が良い場所	場所 駐車場が確保できる	その他
総数	92		14 15.2%	10 10.9%	41 44.6%		9 9.8%	5 5.4%		6 6.5%	1 1.1%	11 12.0%	4 4.3%	23 25.0%

○団体アンケート

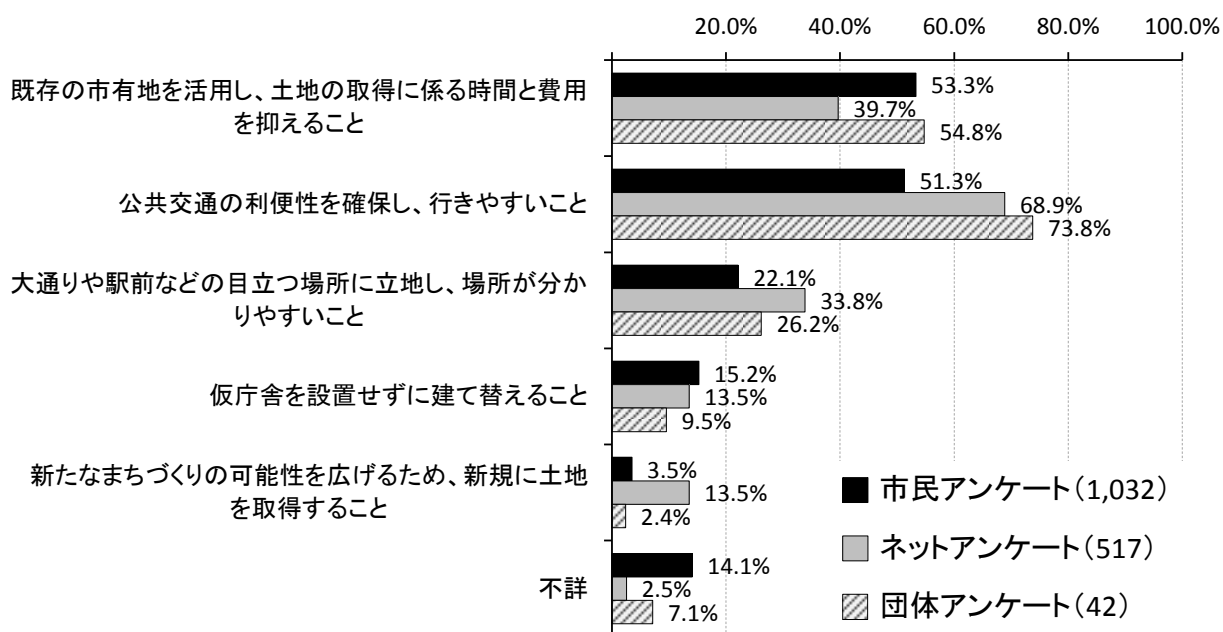
	問13で1または2と回答	諏訪公園付近	大牟田駅周辺	新大牟田駅周辺	新栄町周辺	文化会館周辺	イオン周辺	ゆめタウン周辺	合同庁舎周辺	現所在地周辺	人が集まる場所	交通の便が良い場所	場所 駐車場が確保できる	その他
総数	2			1 50.0%				1 50.0%						

※自由記述の中で学校等の市有地を記載した回答は集計対象外とした

問 15. 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること（問9～問13）の中から、重要と思うものに○をつけてください。（○は2つ以内）

・市民アンケートで最も割合が高いのは「既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること」で53.3%、次いで、「公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと」が51.3%となっている。一方、インターネットアンケートと団体アンケートで最も割合が高いのは「公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと」で、それぞれ68.9%、73.8%である。

■建設場所の検討で考慮すべきこと【複数回答】



■集計表

	市民アンケート		インターネットアンケート		団体アンケート	
	数	割合	数	割合	数	割合
回答者総数	1,032		517		42	
1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること（問9）	157	15.2%	70	13.5%	4	9.5%
2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと（問10）	529	51.3%	356	68.9%	31	73.8%
3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと（問11）	228	22.1%	175	33.8%	11	26.2%
4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること（問12）	550	53.3%	205	39.7%	23	54.8%
5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること（問13）	36	3.5%	70	13.5%	1	2.4%
不詳	145	14.1%	13	2.5%	3	7.1%

問 19. 市庁舎の整備について、ご意見のある方は自由に記入してください。

①市民アンケート

- ・市民アンケートでは、延べ 488 件の意見の記入があった。
- ・「バリアフリー化」、「明るく、使いやすい庁舎」、「使いやすい駐車場」等の「庁舎に求められる機能」に関する意見が延べ 188 件だった。
- ・「本館を歴史的建物、シンボルとして維持するべき」「建て替えるべき」等の「整備手法（本館の取扱いを含む）」に関する意見が延べ 143 件だった。
- ・「交通の便がよい方がいい」「今の場所がよい」等の「建替えの際の建設場所」に関する意見が延べ 69 件だった。
- ・その他、「大牟田のまちづくりについて」、「アンケートについて」などの意見が延べ 88 件だった。

○市民アンケート（延べ 488 件）

1. 庁舎に求められる機能について	188
バリアフリー化	42
明るく、使いやすい庁舎	29
使いやすい駐車場	28
コンパクトな庁舎	15
機能を一ヶ所に集めるべき	13
災害時に拠点として機能する庁舎	11
人口規模、財政状況に合った庁舎	7
シンボルとなる庁舎	7
その他、機能について	36
2. 整備手法（本館の取扱いを含む）について	143
本館を歴史的建物、シンボルとして維持するべき	48
建替えるべき	33
建設費用を抑えるべき	30
モデルケースに対する意見	23
その他、整備手法について	9
3. 建替えの際の建設場所について	69
交通の便がよい方がいい	14
今の場所がよい	10
学校跡地を活用するべき	9
公園に新設するべき	7
その他、建設場所について	29
4. その他	88
大牟田市のまちづくりについて	26
アンケートについて	13
市職員について	10
市民の意見を聴くべき	5
その他	34

※ 4 件以下の内容については、各項目、「その他、〇〇について」に分類した。

②インターネットアンケート

- ・インターネットアンケートでは、延べ 217 件の意見の記入があった。
- ・「明るく、使いやすい庁舎」、「使いやすい駐車場」、「バリアフリー化」等、「庁舎に求められる機能について」の意見が延べ 65 件だった。
- ・「本館を歴史的建物、シンボルとして維持するべき」、「建替えるべき」、「建設費用を抑えるべき」等、「整備手法（本館の取扱いを含む）について」の意見が延べ 79 件だった。
- ・「今の場所がよい」、「学校跡地を活用するべき」、「公園に新設するべき」等、「建替えの際の建設場所について」の意見が延べ 33 件だった。
- ・その他、「早く決定、実行するべき」、「大牟田市のまちづくりについて」等の意見が延べ 40 件だった。

○ネットアンケート（延べ 217 件）

1. 庁舎に求められる機能について	65
明るく、使いやすい庁舎	14
使いやすい駐車場	12
バリアフリー化	8
その他、機能について	31
2. 整備手法（本館の取扱いを含む）について	79
本館を歴史的建物、シンボルとして維持するべき	37
建替えるべき	19
建設費用を抑えるべき	9
その他、整備手法について	14
3. 建替えの際の建設場所について	33
今の場所がよい	8
学校跡地を活用するべき	6
公園に新設するべき	6
その他、建設場所について	13
4. その他	40
大牟田市のまちづくりについて	9
アンケートについて	8
早く決定、実行するべき	7
その他	16

※ 4 件以下の内容については、各項目、「その他、〇〇について」に分類した。

③団体アンケート

- ・団体アンケートでは、延べ 53 件の意見の記入があった。
- ・「庁舎に求められる機能について」の意見が 23 件、「整備手法（本館の取扱いを含む）について」の意見が 11 件、「建替えの際の建設場所について」の意見が 7 件、その他の意見が 12 件出された。

○団体アンケート（延べ 53 件）

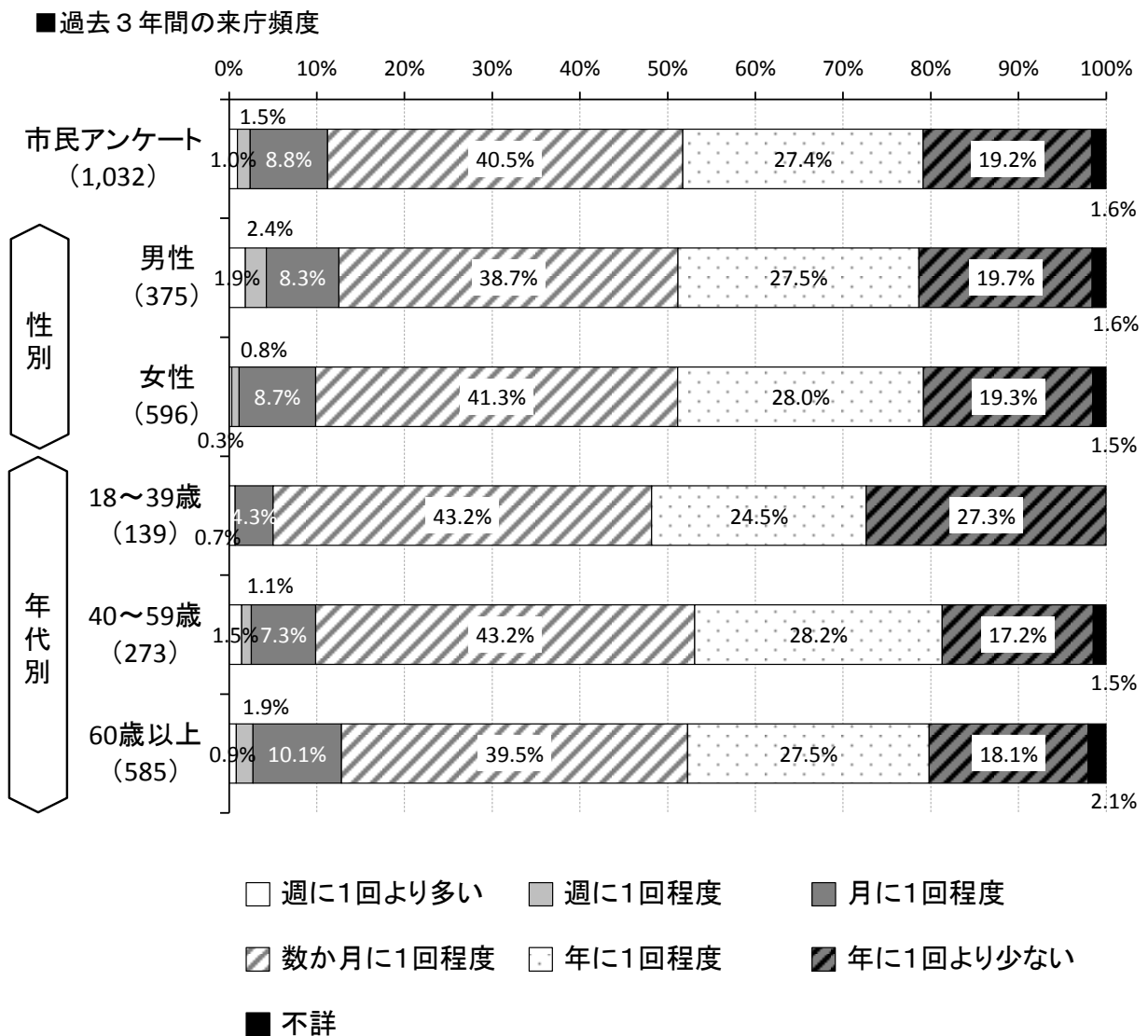
1. 庁舎に求められる機能について	23
2. 整備手法（本館の取扱いを含む）について	11
3. 建替えの際の建設場所について	7
4. その他	12

3 市民アンケート調査結果

(1) 来庁頻度

問1. 過去3年の間、どのくらいの頻度で、市庁舎に訪れていますか。(〇は1つ)

- ・最も割合が高いのは「数か月に1回程度」で40.5%、次いで「年に1回程度」が27.4%となっている。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「数か月に1回程度」で、それぞれ38.7%、41.3%である。来庁頻度は、性別に関係なく概ね同じ傾向がみられる。
- ・年代別にみると、最も割合が高いのはいずれの年代も「数か月に1回程度」である。高年齢になるにつれ、「月に1回程度」よりも多く来庁する傾向がみられる。

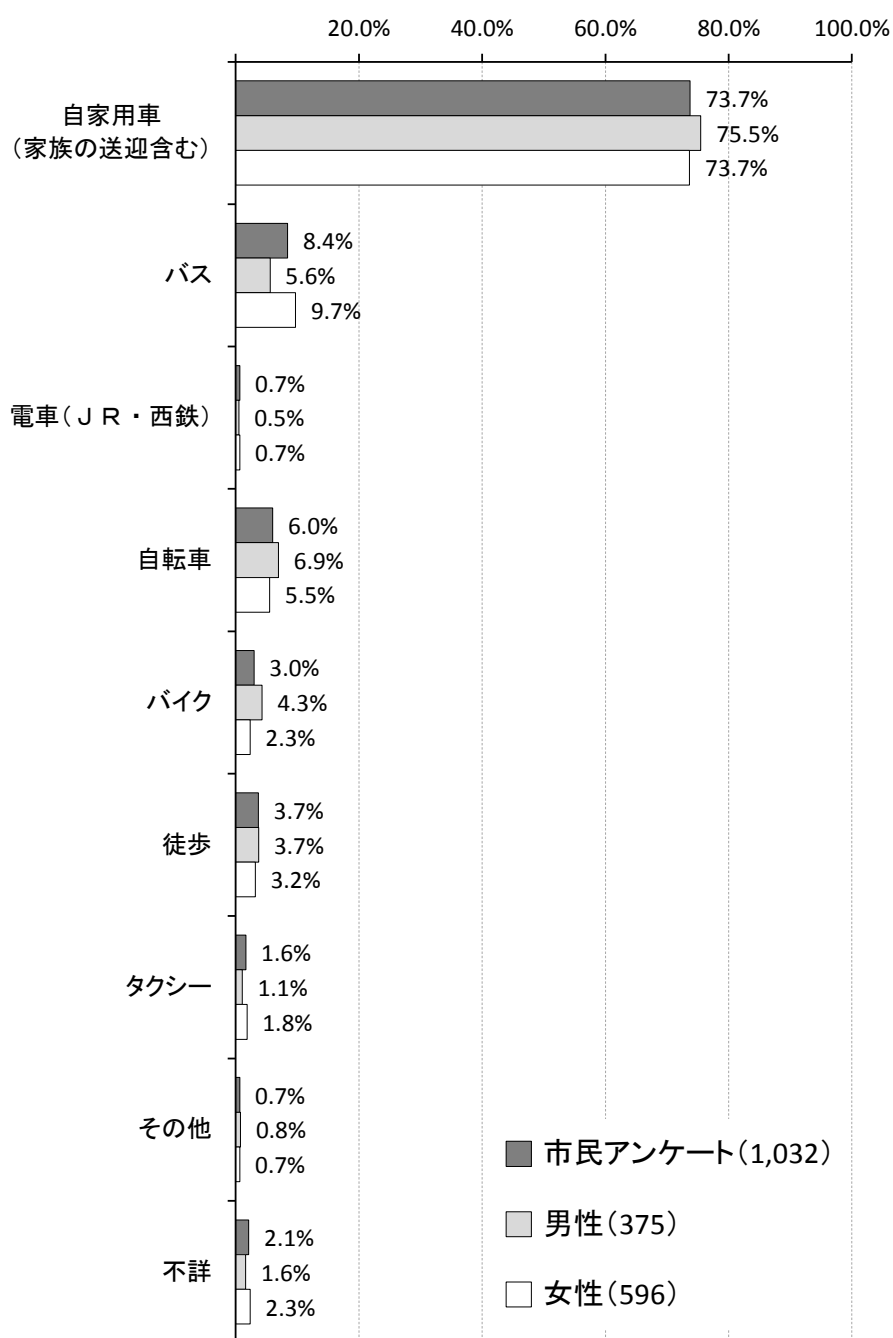


(2) 交通手段

問2. 市庁舎を訪れる場合の主な交通手段は何ですか。(〇は1つ)

- ・最も割合が高いのは「自家用車」で73.7%、次いで「バス」が8.4%となっている。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「自家用車」で、それぞれ75.5%、73.7%である。交通手段は、性別に関係なく概ね同じ傾向がみられる。

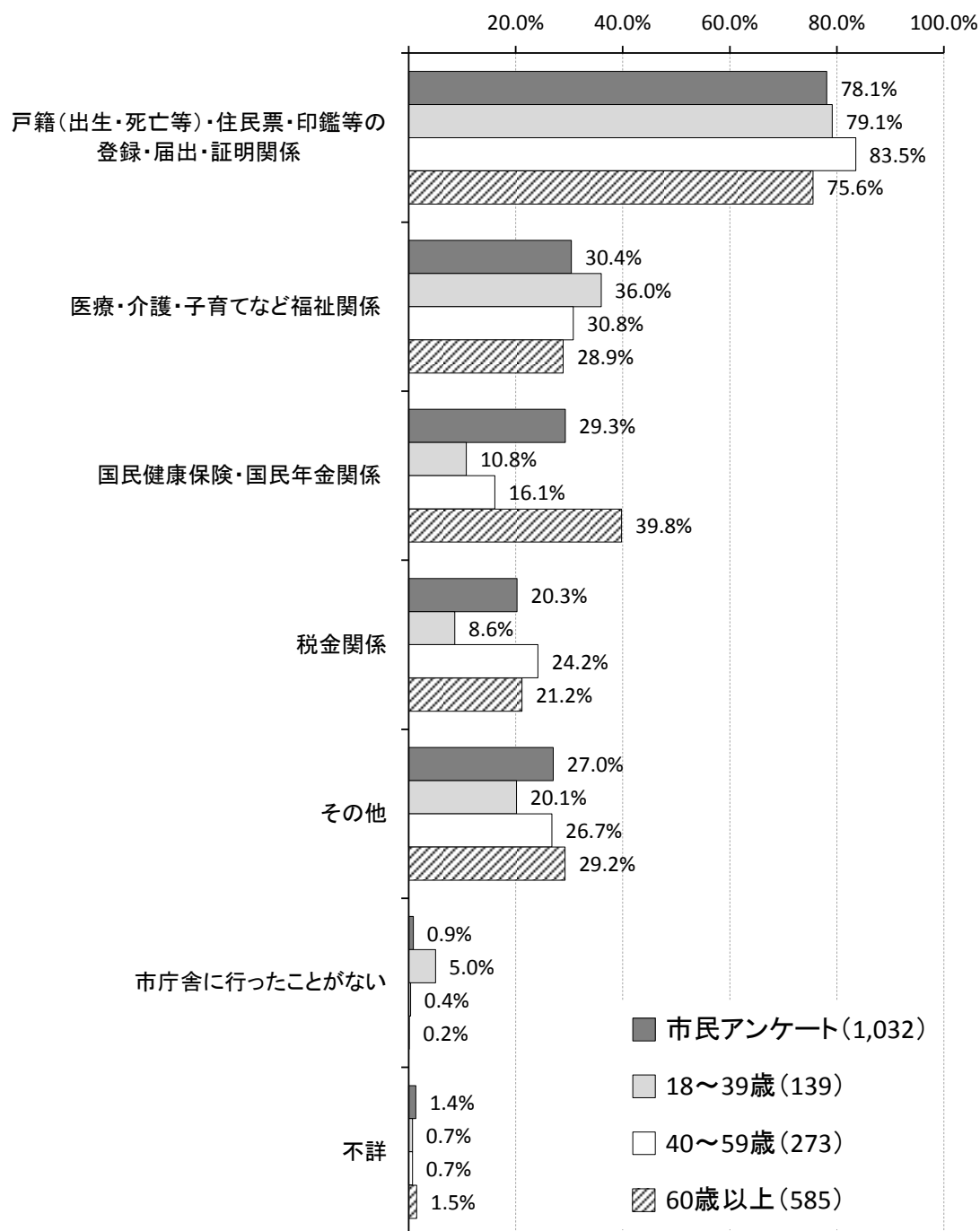
■ 来庁する場合の主な交通手段（性別）



※「その他」の回答は、P6 参照。

- ・年代別にみると、最も割合が高いのはいずれの年代も「自家用車」である。
- ・「60歳以上」は他の年代よりも「自家用車」の割合（65.6%）が低く、「バス」の割合（12.1%）が高い。

■来庁する場合の主な交通手段（年齢別）



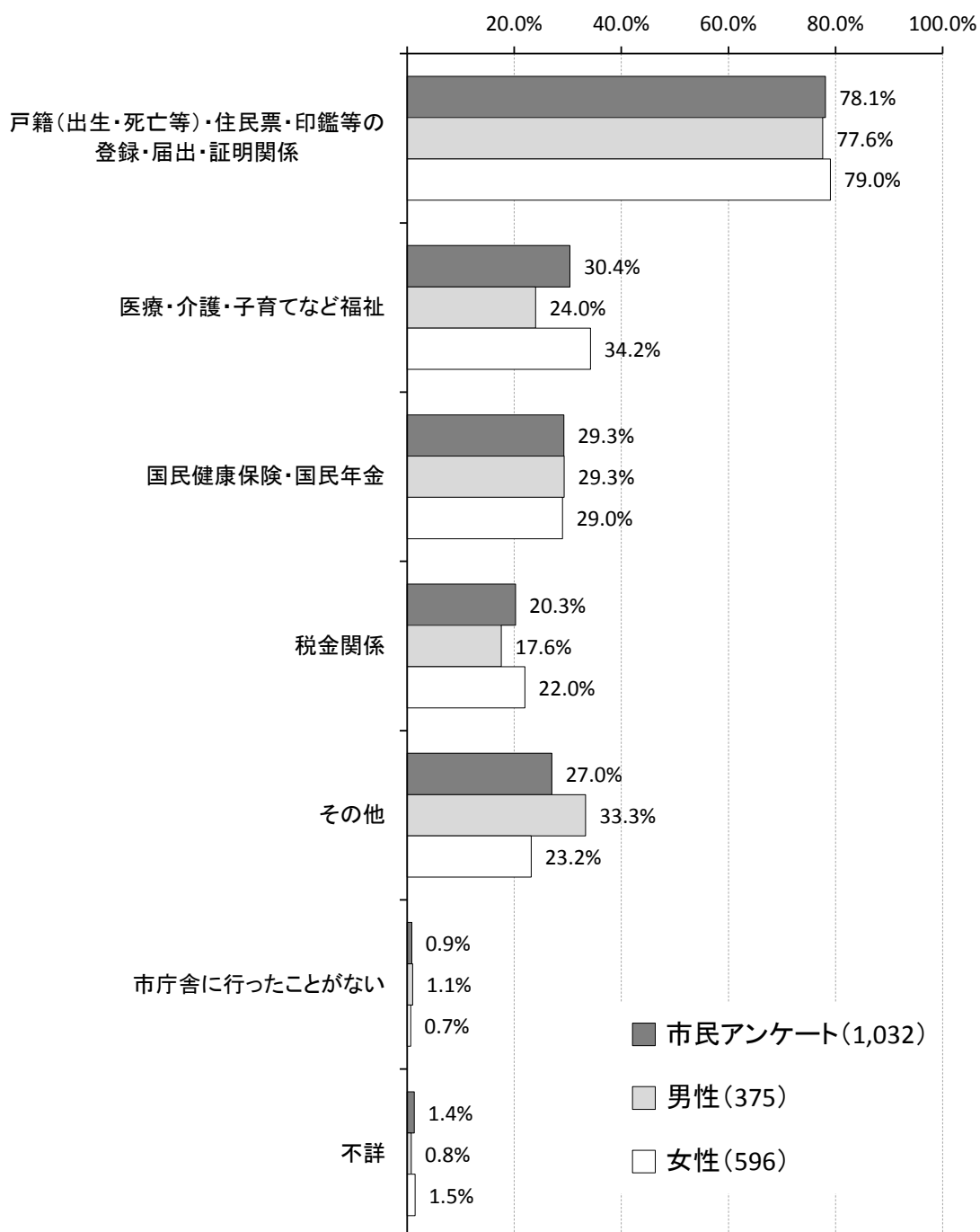
※「その他」の回答は、P6 参照。

(3) 来庁の目的

問3. 主にどのような目的で、市庁舎に訪れていますか。(あてはまるもの全てに○)

- ・最も割合が高いのは「戸籍・住民票・印鑑等の登録・届出・証明関係」で、78.1%である。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「戸籍・住民票・印鑑等の登録・届出・証明関係」で、それぞれ77.6%、79.0%である。
- ・「医療・介護・子育てなど福祉」については、女性が34.2%で男性の24.0%を10.2ポイント上回っている。

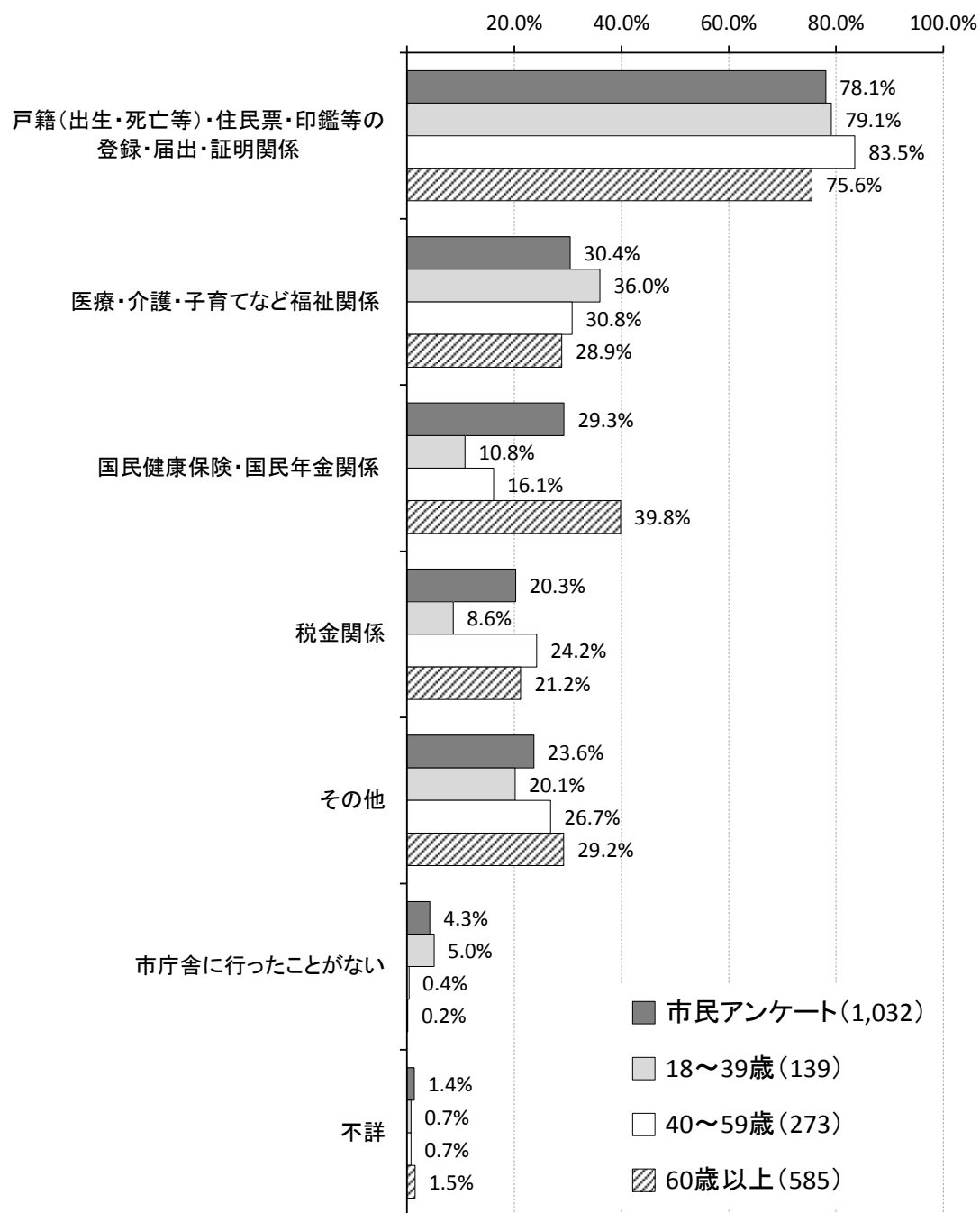
■来庁の主な目的【複数回答】(性別)



※「その他」の回答は、P8 参照。

- ・年代別にみると、「60歳以上」は他の年代よりも「国民健康保険・国民年金関係」の割合（39.8%）が高い。

■来庁の主な目的【複数回答】（年齢別）

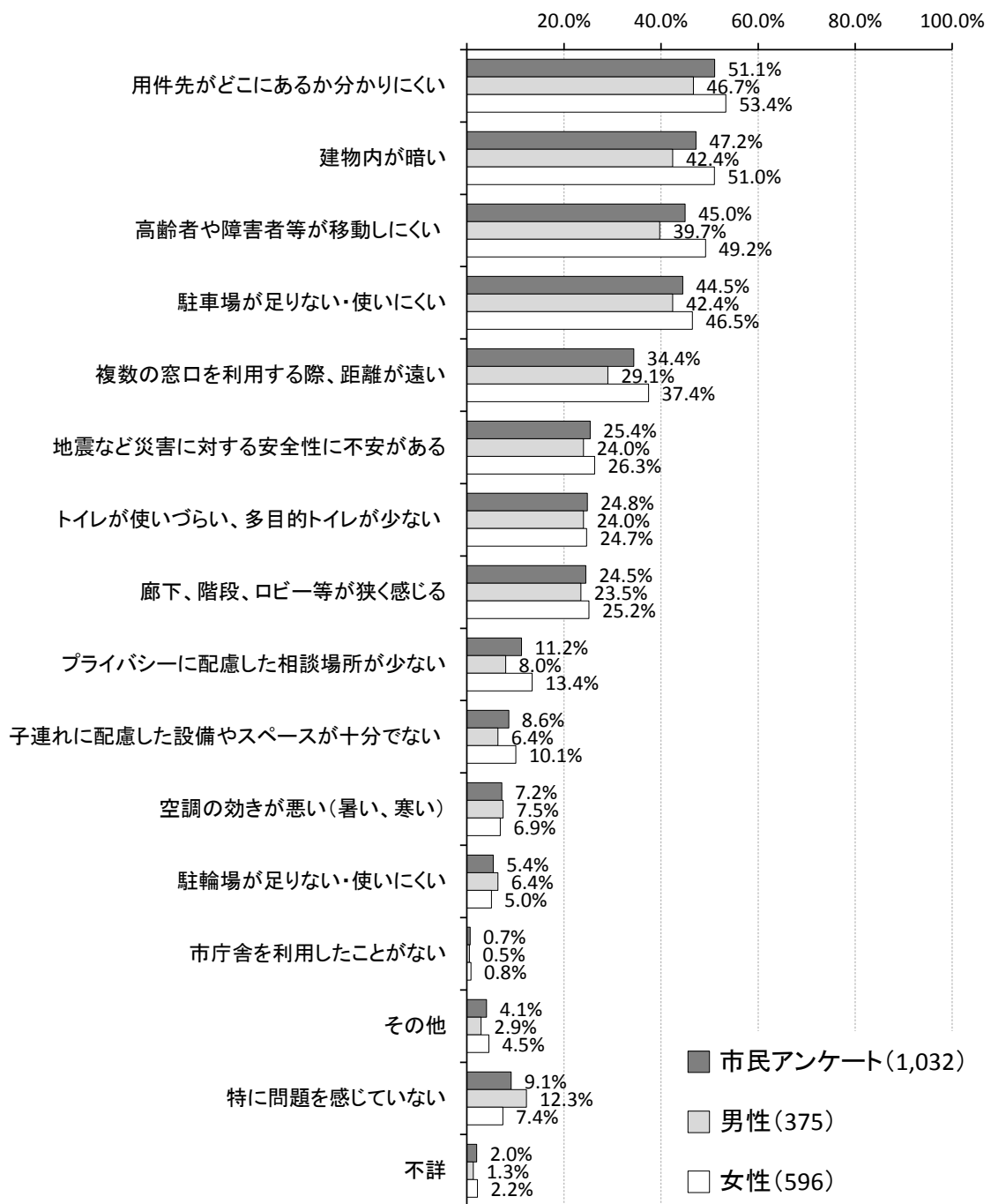


※「その他」の回答は、P8 参照。

(4) 困ったこと、不便に感じたこと

問 4. 市庁舎を利用して困ったこと、不便に感じたことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

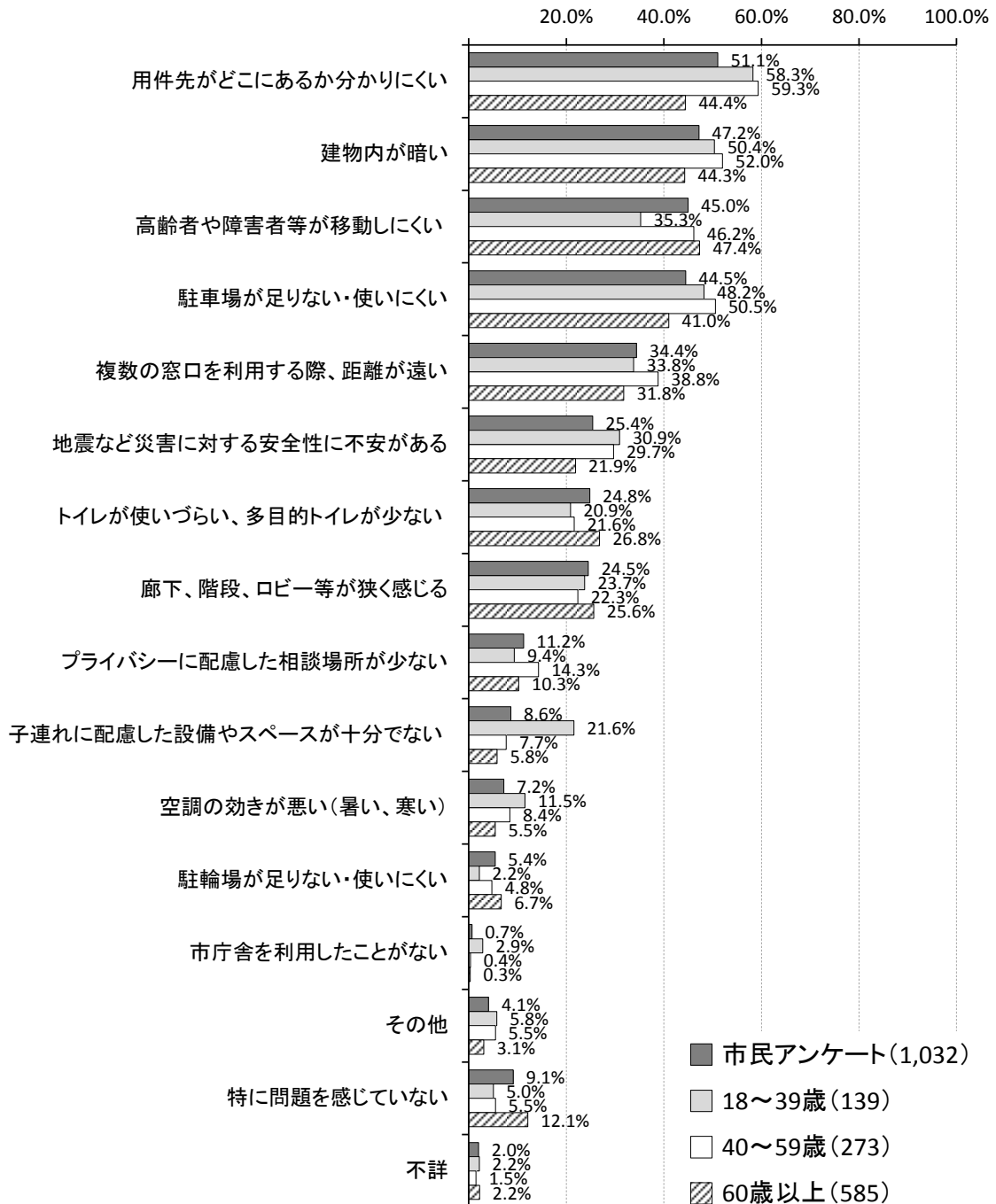
- ・割合が高いのは「用件先がどこにあるか分かりにくい」、「建物内が暗い」、「エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が移動しにくい」などである。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「用件先がどこにあるか分かりにくい」で、それぞれ 46.7%、53.4%である。また、全体的にみて、女性の方が男性よりも割合が高い傾向がある。



※「その他」の回答は、P11 参照。

- ・年代別にみると、「60歳以上」は他の年代よりも「分かりにくさ」や「駐車場の使いにくさ」の割合が低く、一方で「移動しにくさ」の割合が高い。
- ・「子連れに配慮した設備やスペースが十分でない」は、他の年代よりも「18～39歳」の割合が高い。

■市庁舎の利用で困ったこと、不便に感じたこと【複数回答】（年齢別）



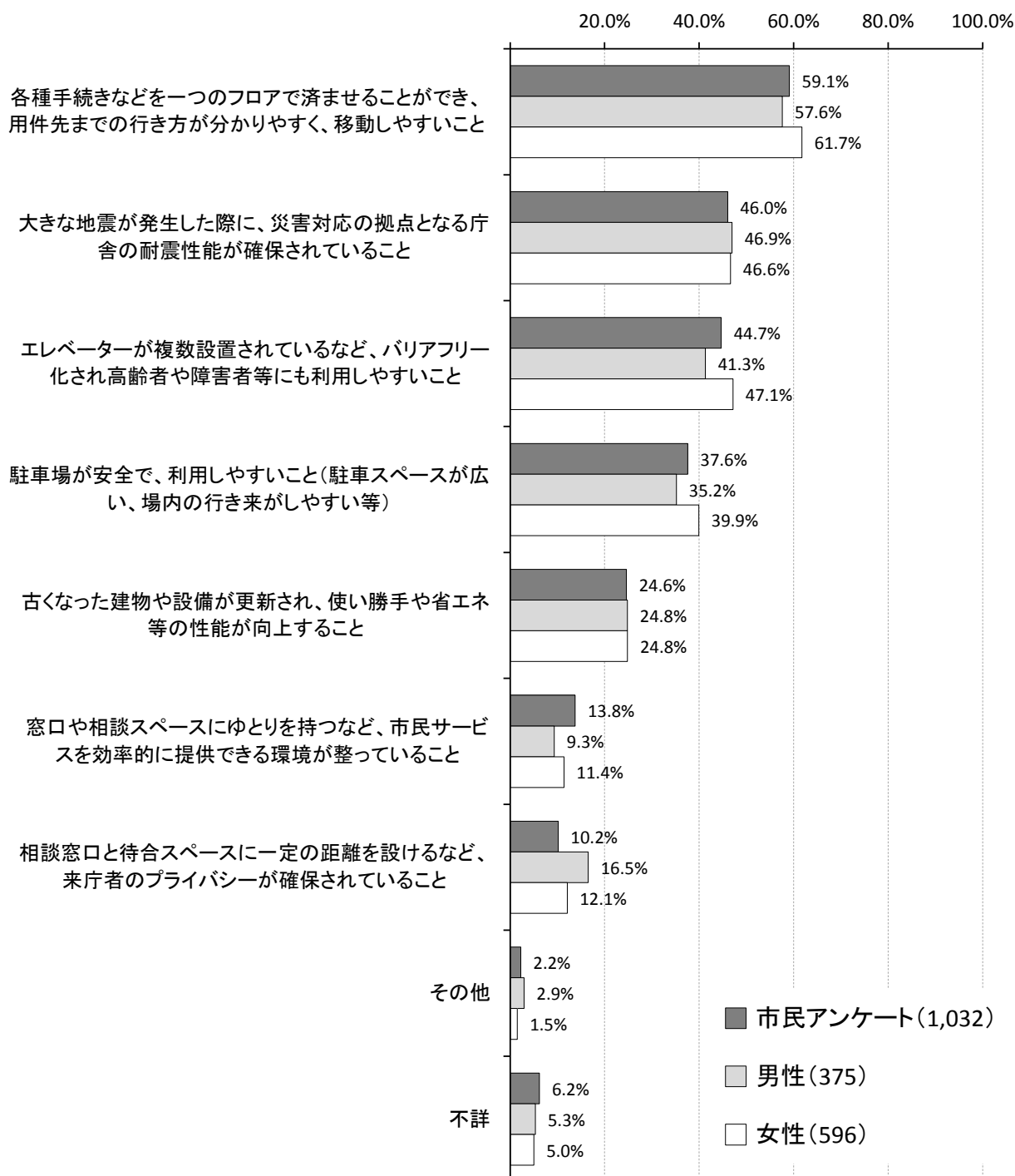
※「その他」の回答は、P11 参照。

(5) 市庁舎に求めるもの

問5. 市庁舎に求めるものを次の中から選んでください。(〇は3つ以内)

- ・最も割合が高いのは「各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと」で、59.1%である。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと」で、それぞれ57.6%、61.7%である。

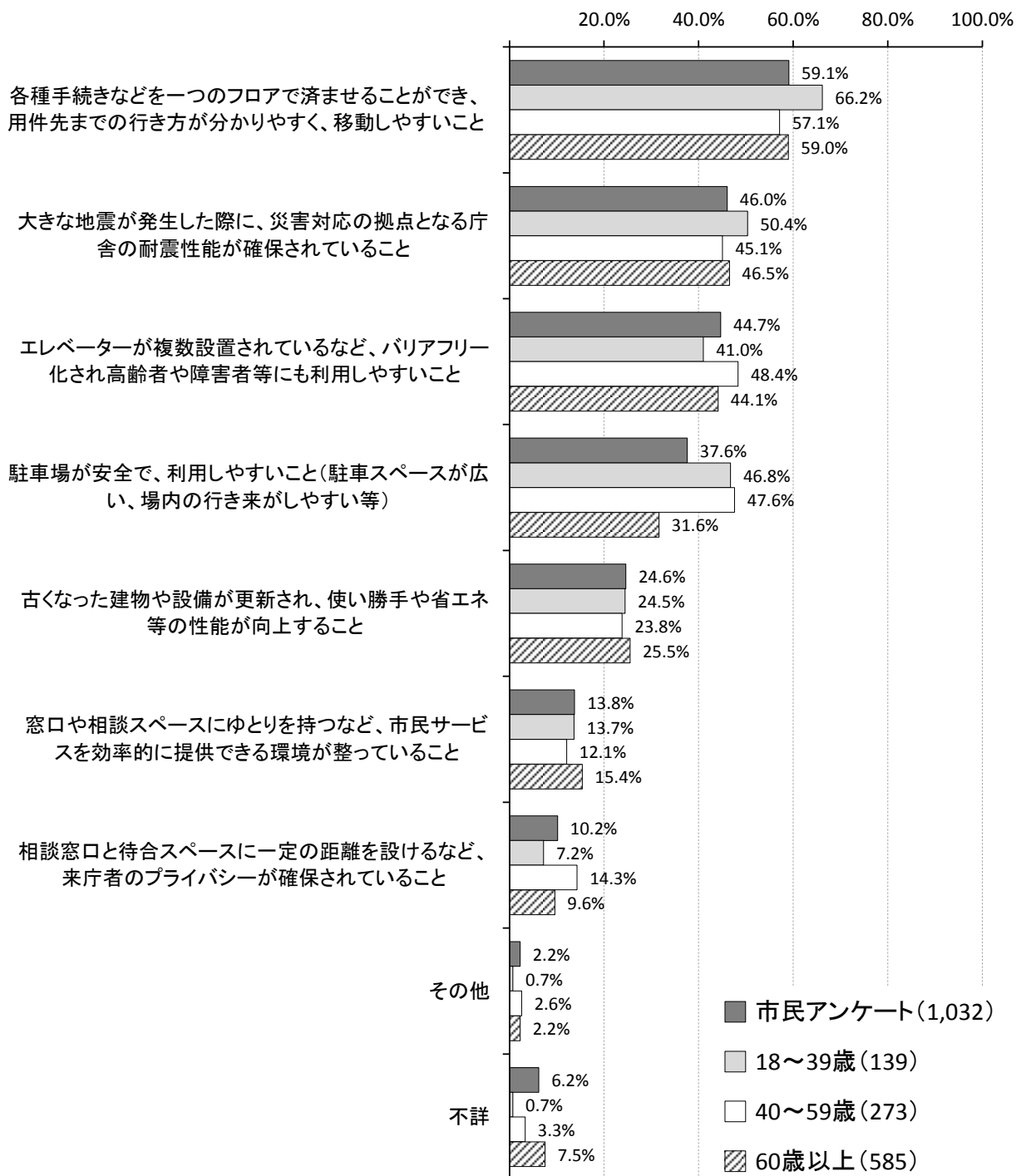
■市庁舎に求めるもの【複数回答】(性別)



※「その他」の回答は、P14 参照。

- ・年代に関わらず概ね同様の傾向にあるが、「駐車場が安全で、利用しやすいこと」については、「60歳以上」の割合は低く、「18～39歳」及び「40～59歳」で割合が高い。

■市庁舎に求めるもの【複数回答】（年齢別）



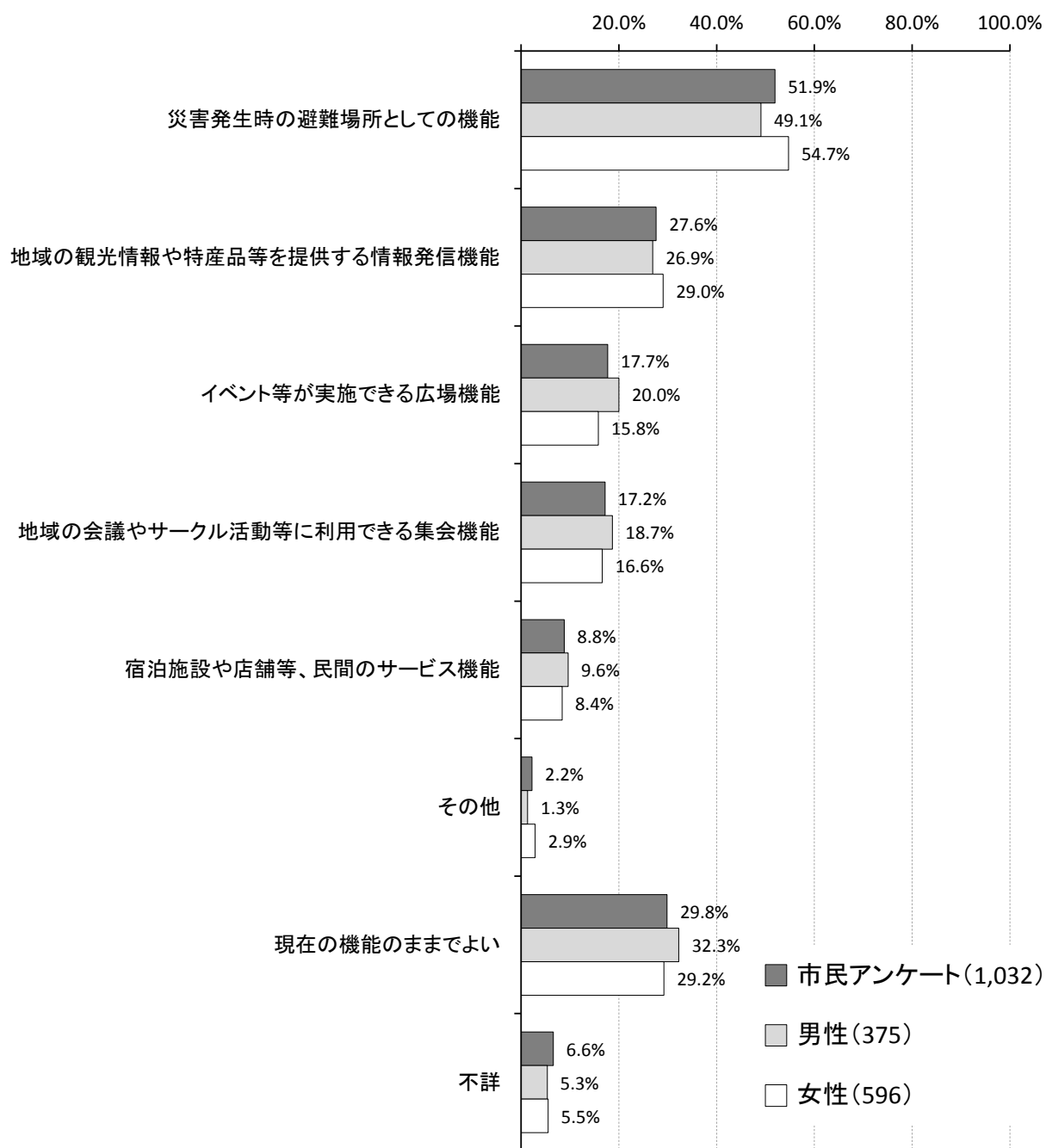
※「その他」の回答は、P14 参照。

(6) 市庁舎にあった方がよいと思う機能

問6. 市庁舎にあった方がよいと思う機能に○を付けてください。(○は3つ以内)

- ・最も割合が高いのは「災害発生時の避難場所としての機能」で、51.9%である。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「災害発生時の避難場所としての機能」で、それぞれ49.1%、54.7%である。

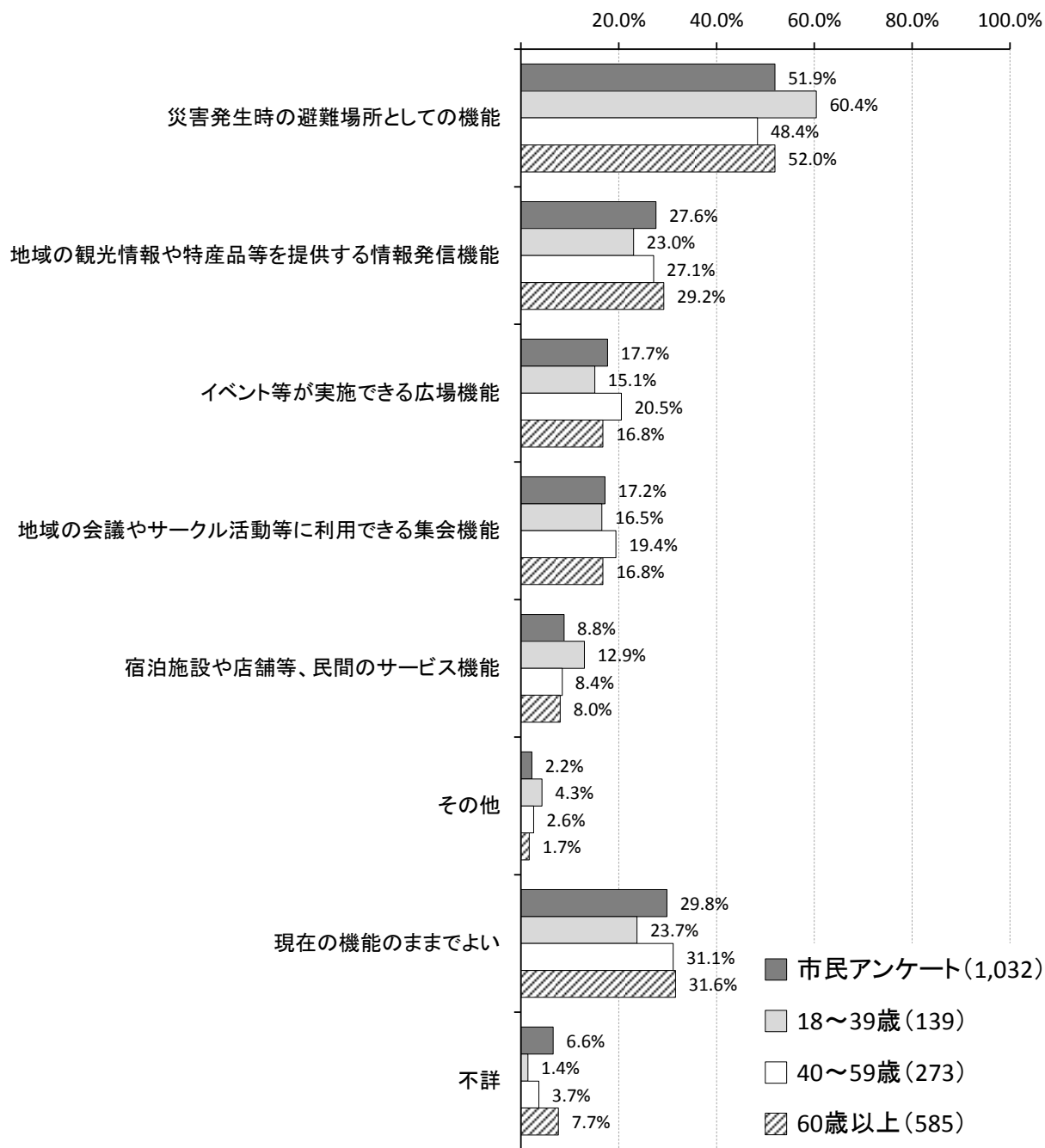
■市庁舎にあった方がよい機能【複数回答】(性別)



※「その他」の回答は、P16 参照。

- ・年代に関わらず概ね同様の傾向にあるが、「災害発生時の避難場所としての機能」については、他の年代に比べて「18～39歳」で割合がやや高い。

■市庁舎にあった方がよい機能【複数回答】（年齢別）



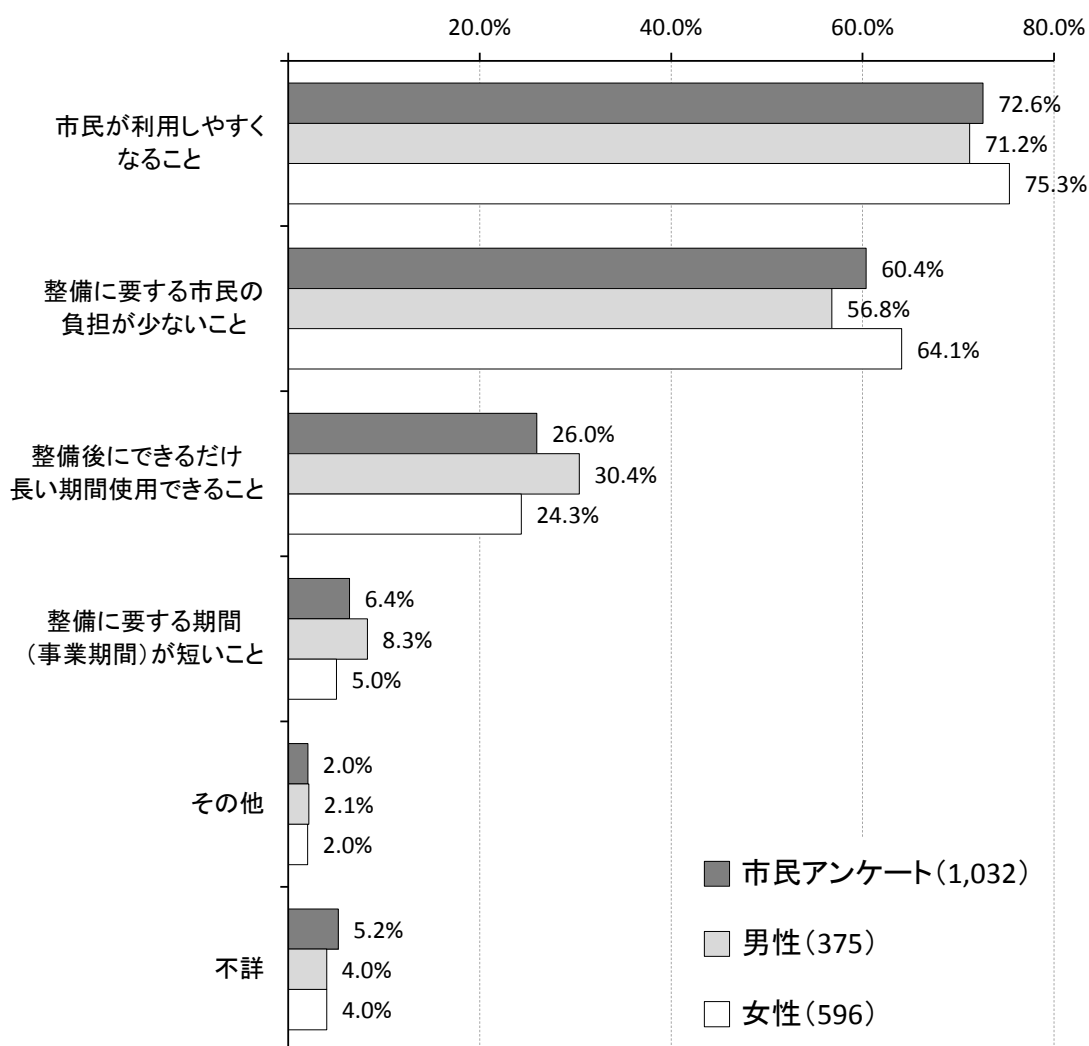
※「その他」の回答は、P16 参照。

(7) 整備手法を決定するにあたり、重要と思う視点

問 7. 市庁舎の整備手法（改修、建替え）を決定するにあたり、重要だと思う視点に○を付けてください。（○は2つ以内）

- ・最も割合が高いのは「市民が利用しやすくなること」で 72.6%、次いで「整備に要する市民の負担が少ないこと」が 60.4%である。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「市民が利用しやすくなること」で、それぞれ 71.2%、75.3%である。
- ・「整備に要する市民の負担が少ないこと」は女性の方がやや割合が高く、一方で、「整備後にできるだけ長い期間使用できること」は男性の方がやや割合が高い。

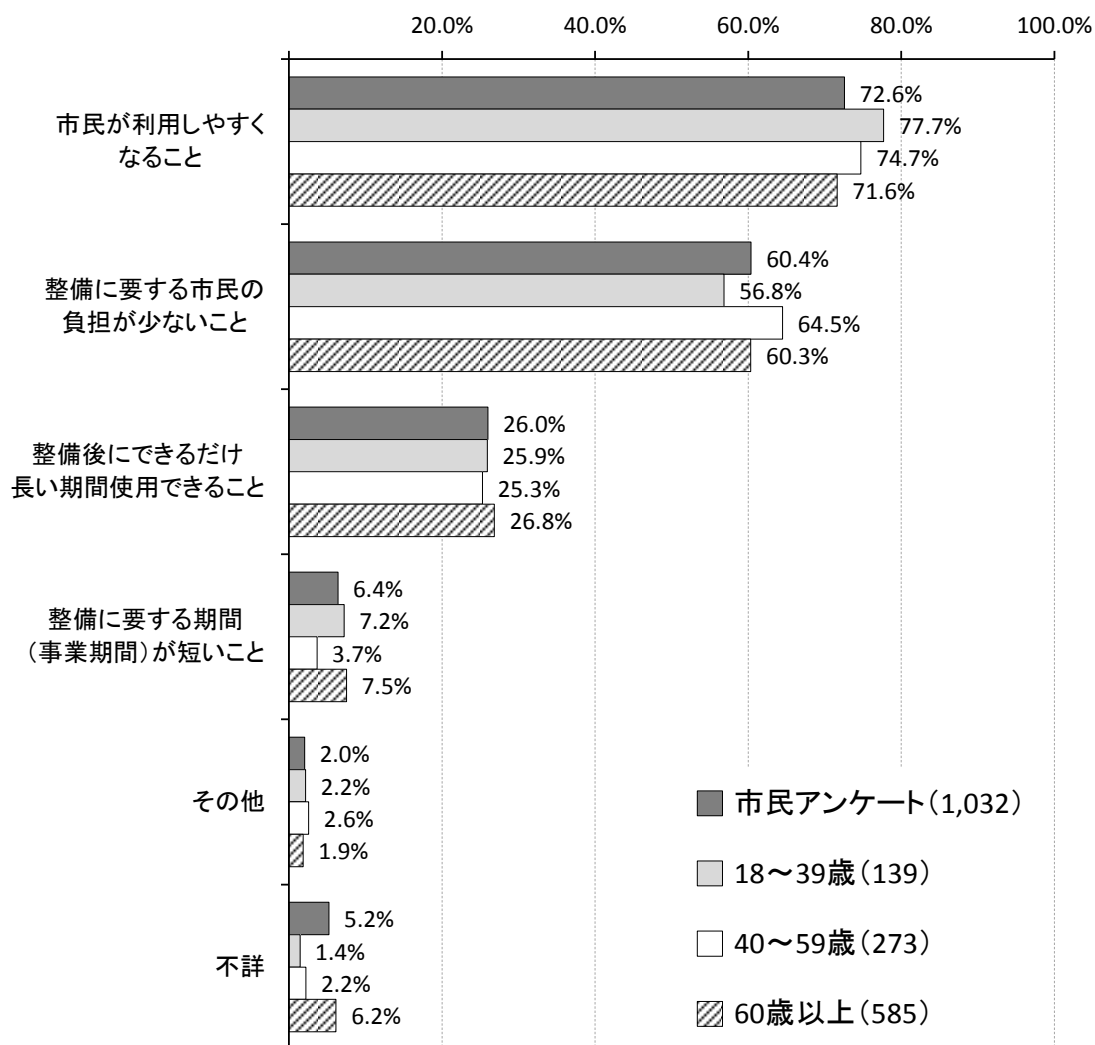
■市庁舎の整備手法決定で重要と思う視点【複数回答】（性別）



※「その他」の回答は、P18 参照。

- ・年代別にみると、「利用しやすさ」は若いほど割合が高い傾向で、一方で「市民負担の少なさ」については「18～39歳」は他の年代よりも割合が低い。

■市庁舎の整備手法決定で重要と思う視点【複数回答】（年齢別）



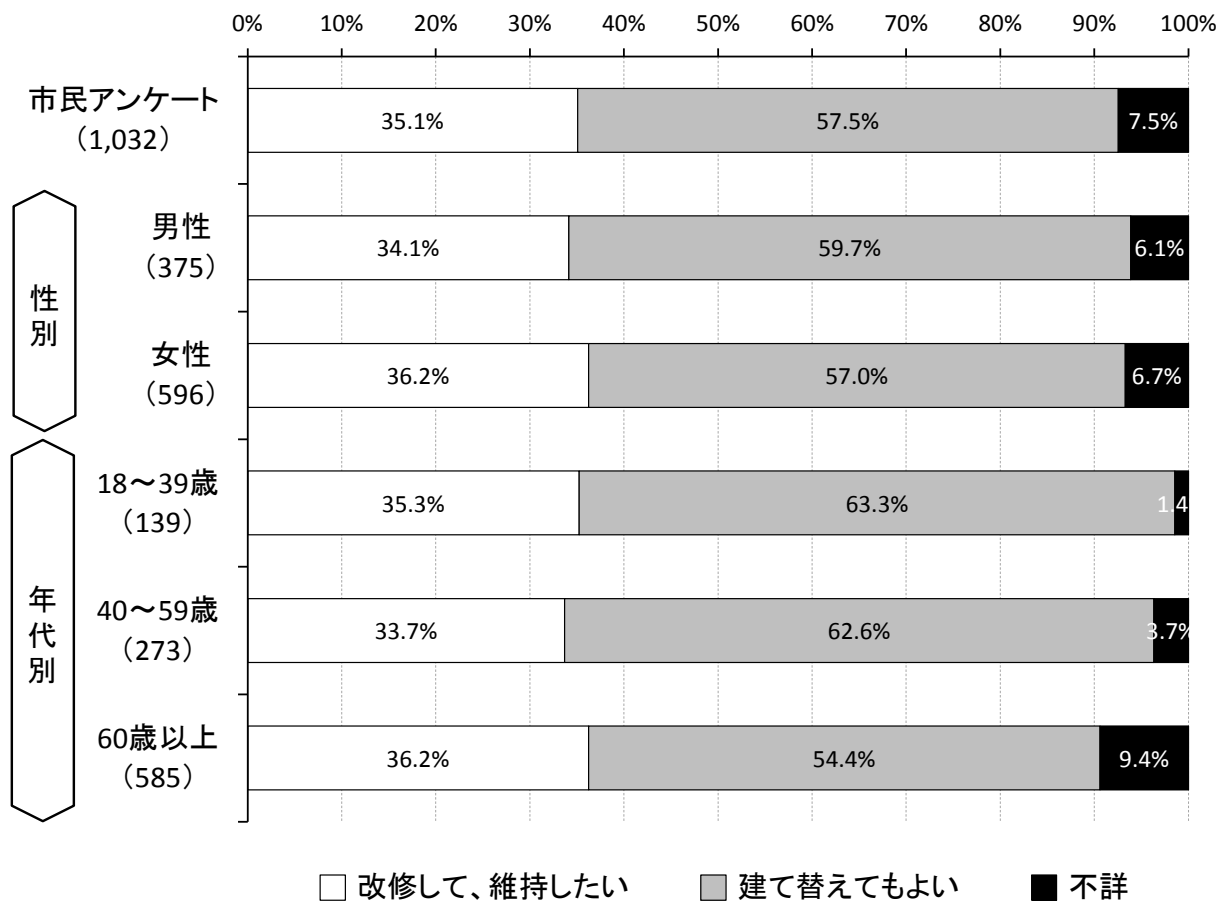
※「その他」の回答は、P18 参照。

(8) 本館の取扱い

問8. 本館について、「改修して、維持したい」と思いますか、それとも「建て替えてもよい」と思いますか。(〇は1つ)

- ・「建て替えてもよい」の割合が、「改修して、維持したい」よりも高い。
- ・「改修して、維持したい」を選んだ割合は、性別では「女性」が36.2%と男性よりもやや高く、年代別では、「60歳以上」が36.2%と他の年代と比較してやや高い。

■本館の整備手法

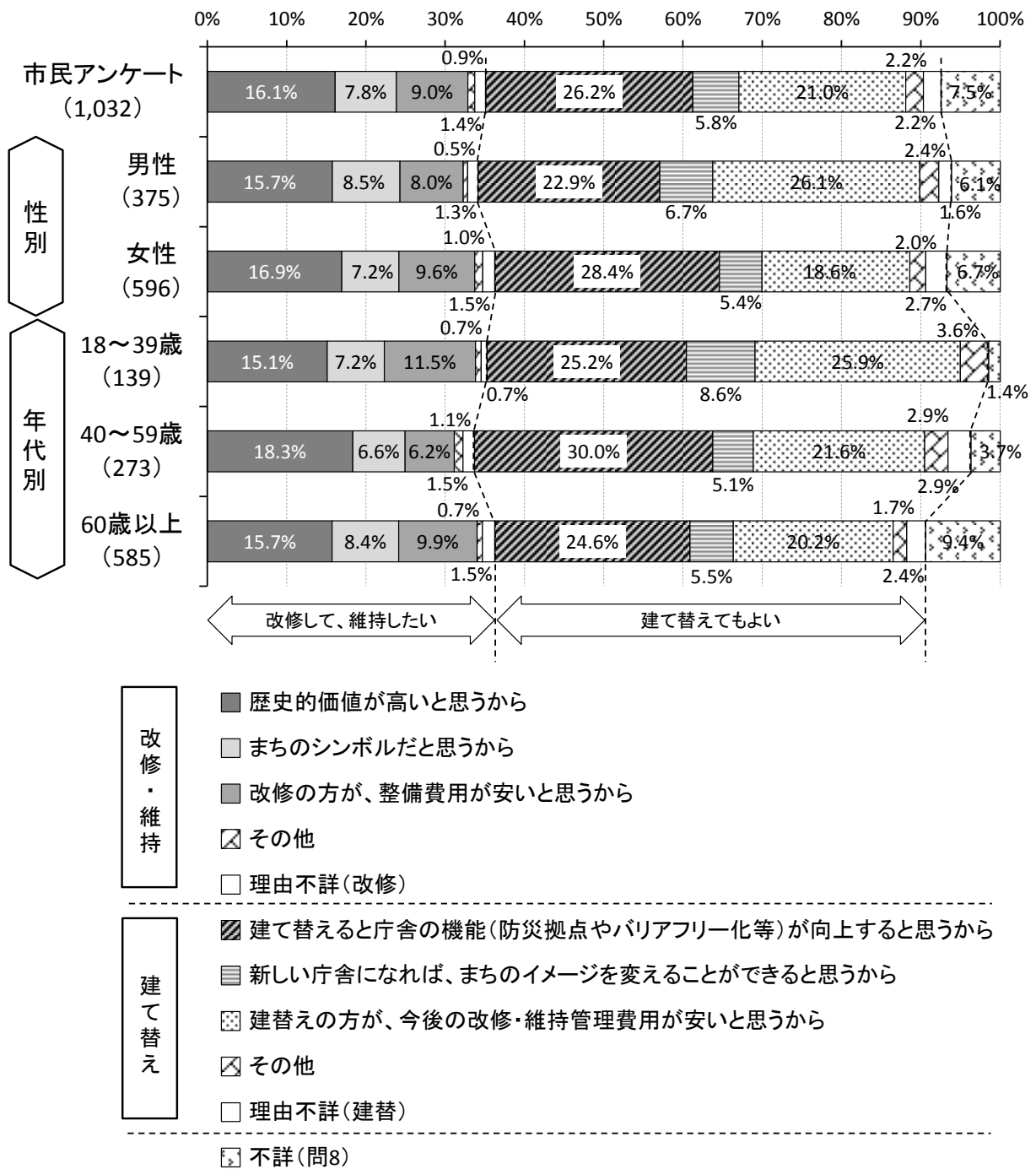


問 8-1. 問8で「1」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。
(○は1つ)

問 8-2. 問8で「2」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。
(○は1つ)

- ・「改修して、維持したい」を選んだ理由で最も割合が高いのは、「歴史的価値が高いと思うから」で、16.1%である。性別ではほぼ差はなく、年代別では「40～59歳」で他の年代よりもやや割合が高い。
- ・「建て替えてもよい」を選んだ理由で最も割合が高いのは、「建て替えると庁舎の機能が向上すると思うから」で、26.2%である。性別では「女性」の方がやや割合が高く、年代別では「40～59歳」で他の年代よりもやや割合が高い。次に割合が高いのは「建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから」で、21.0%である。性別では「男性」の方が割合が高く、年代別では「18～39歳」で他の年代よりも割合が高い。
- ・「改修の方が、整備費用が安いと思うから」と「建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから」を合計すると全体では30.0%となり、整備手法を選ぼうと費用面がポイントとなっている。なお、年代別でみると「18～39歳」は37.4%となっている。

■問8で「1」または「2」を選んだ理由



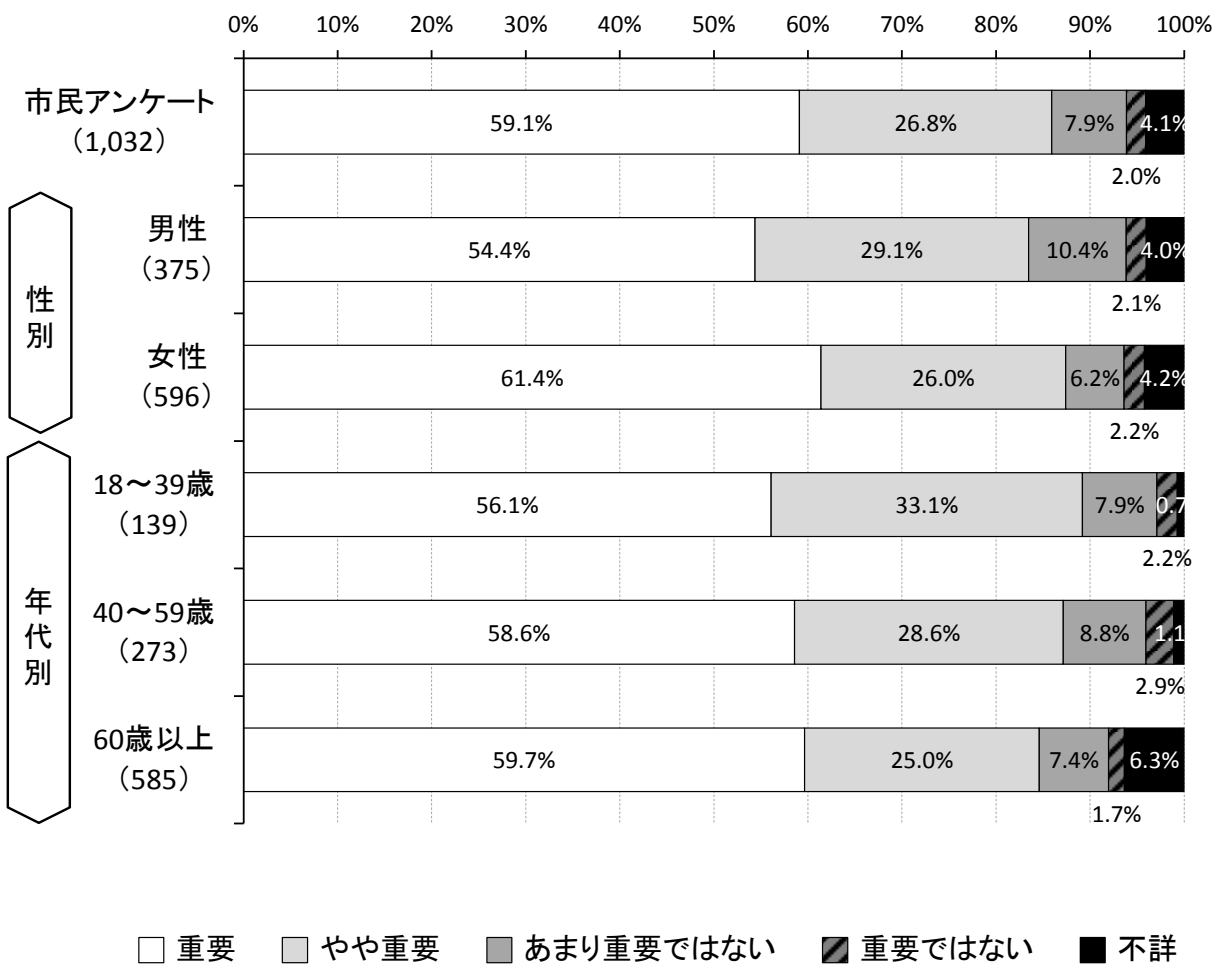
※「その他」の回答は、P21、22 参照。

(10) 公共交通の利便性の確保

問 10. 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「公共交通の利便性（電車・バスなど）の確保」は重要だと思いますか。（○は1つ）

- ・「公共交通の利便性の確保」については、「重要」の割合が最も高く、59.1%である。
- ・「重要」と「やや重要」を合計すると85.9%で、性別では「女性」の方がやや割合が高く87.4%、年代別では「18～39歳」で他の年代よりも割合がやや高く89.2%となっている。

■ 「公共交通の利便性」に対する考え

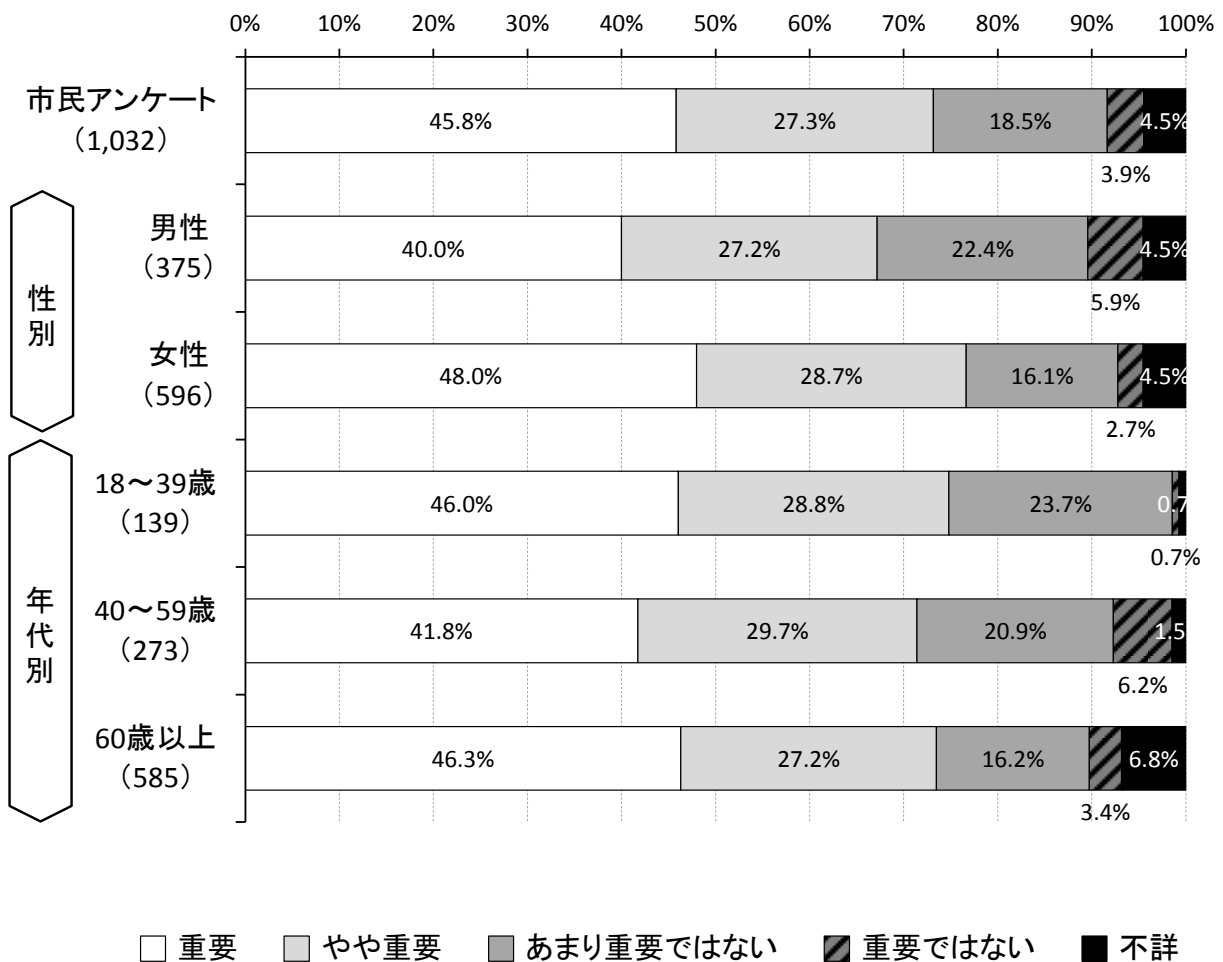


(11) 分かりやすい場所であること

問 11. 現在の市庁舎は、国道沿いで駅前の目に付きやすい場所にあります。
 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、大通りや駅前などの「分かりやすい場所であること」は重要だと思いますか。(〇は1つ)

- ・「分かりやすい場所であること」については、「重要」の割合が最も高く、45.8%である。
- ・「重要」と「やや重要」を合計すると73.1%で、性別では「女性」の方が割合が高く76.7%、年代別では「18～39歳」で他の年代よりも割合がやや高く74.8%となっている。

■ 「分かりやすい場所であること」に対する考え

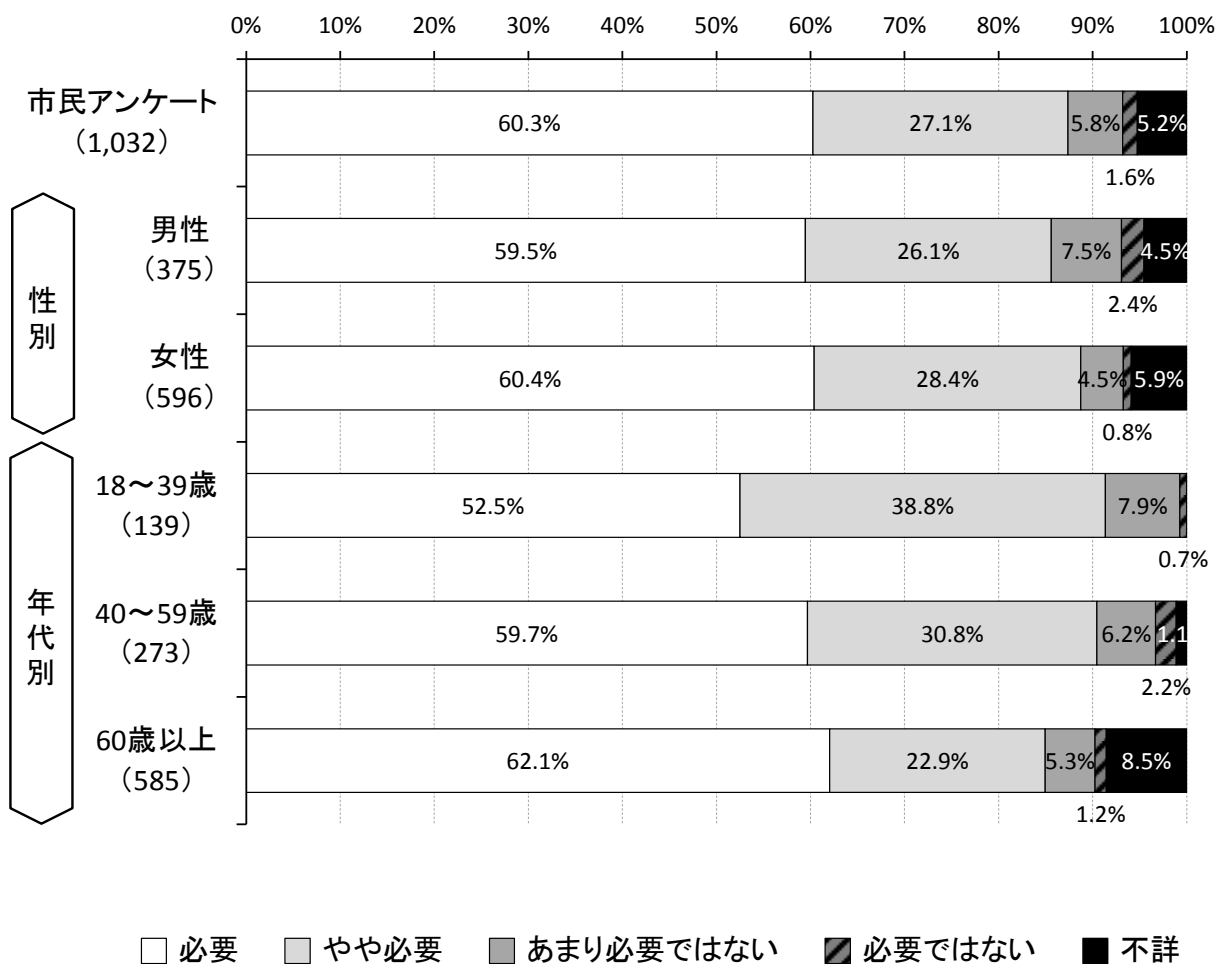


(12) 既存の市有地を活用すること

問 12. 建設場所として既存の市有地を活用する場合、建設候補地は限られますが、土地の取得のための時間と費用が抑えられることが期待できます。
「既存の市有地を活用すること」は必要だと思いますか。(〇は1つ)

- ・「既存の市有地を活用すること」については、「必要」の割合が最も高く、60.3%である。
- ・「必要」と「やや必要」を合計すると87.4%で、性別では「女性」の方が割合がやや高く88.8%、年代別では「18～39歳」及び「40～59歳」で割合がやや高く、それぞれ91.3%、90.5%となっている。

■ 「既存の市有地を活用すること」に対する考え

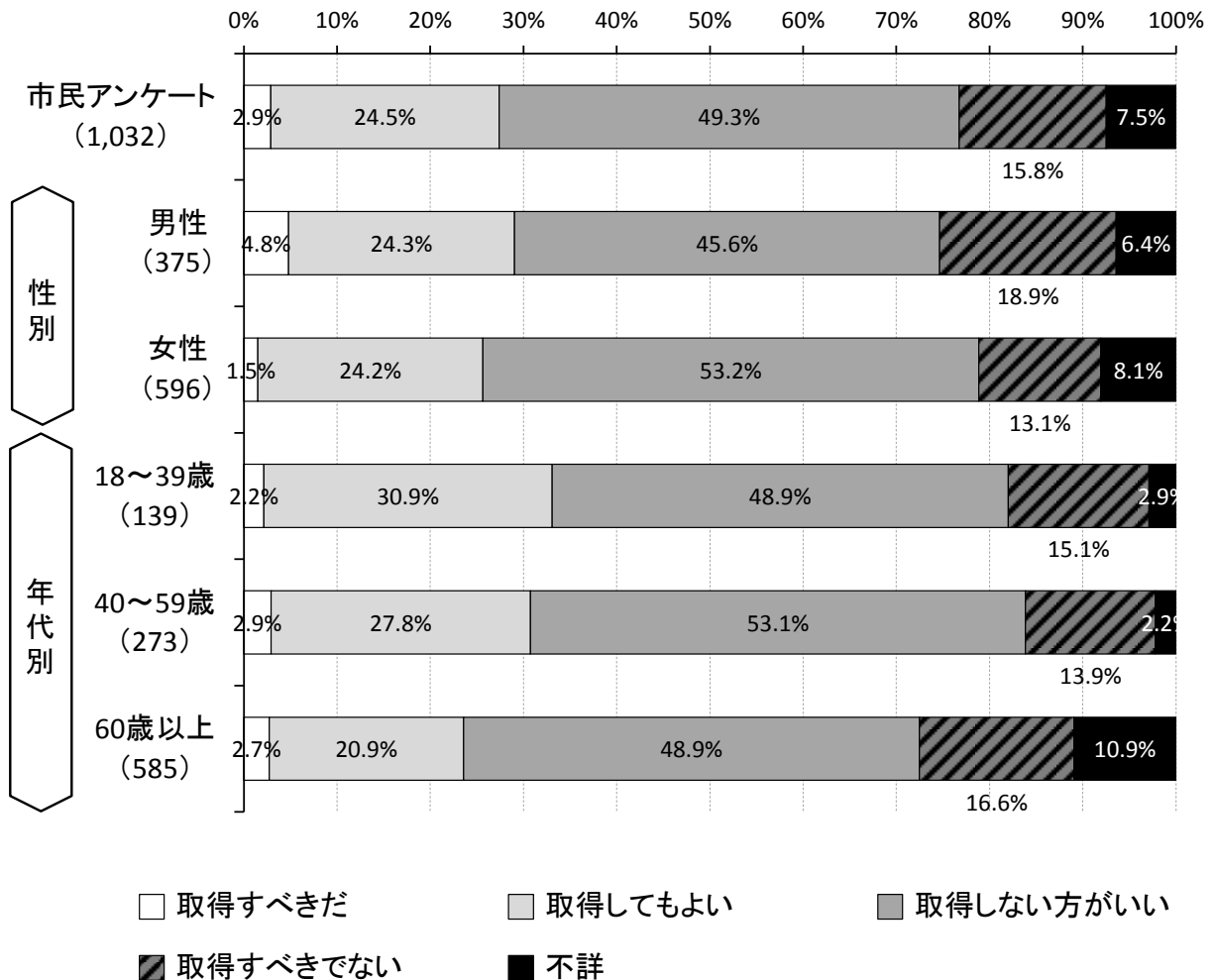


(13) 新規に土地を取得すること

問 13. 建設場所として街なかや商業施設付近の土地を新規に取得する場合、土地の取得に時間と費用が必要となります。その一方で、既存の市有地に限定する場合に比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。
新規に土地を取得してもよいと思いますか。(〇は1つ)

- ・「新規に土地を取得すること」については、「取得しない方がいい」の割合が最も高く 49.3%である。
- ・「取得しない方がいい」と「取得すべきでない」を合計すると 65.1%で、性別では「女性」の方が割合がやや高く 66.3%、年代別では「40～59歳」で割合がやや高く 67.0%となっている。

■「新規に土地を取得すること」に対する考え



(14) 新規に土地を取得する場合、適切と思う場所

問 14. 問13で「1」または「2」に○を付けた方にお尋ねします。

市が新規に土地を取得する場合、適切と思う場所について、具体的なご提案があれば、記入してください。(自由記述)

- ・「市が新規に土地を取得する場合に適切と思う場所」の自由記述で多いのは、「新栄町周辺」、「交通の便が良い場所」、「イオン周辺」となっている。

■市が新規に土地を取得する場合に適切と思う場所【自由記述】

	問13で1または2と回答	諏訪公園付近	大牟田駅周辺	新大牟田駅周辺	新栄町周辺	文化会館周辺	イオン周辺	ゆめタウン周辺	合同庁舎周辺	現所在地周辺	人が集まる場所	交通の便が良い場所	場所 駐車が確保できる	その他
総数	63	1	5	4	22	1	10	5	1	7	1	17	7	12
		1.6%	7.9%	6.3%	34.9%	1.6%	15.9%	7.9%	1.6%	11.1%	1.6%	27.0%	11.1%	19.0%

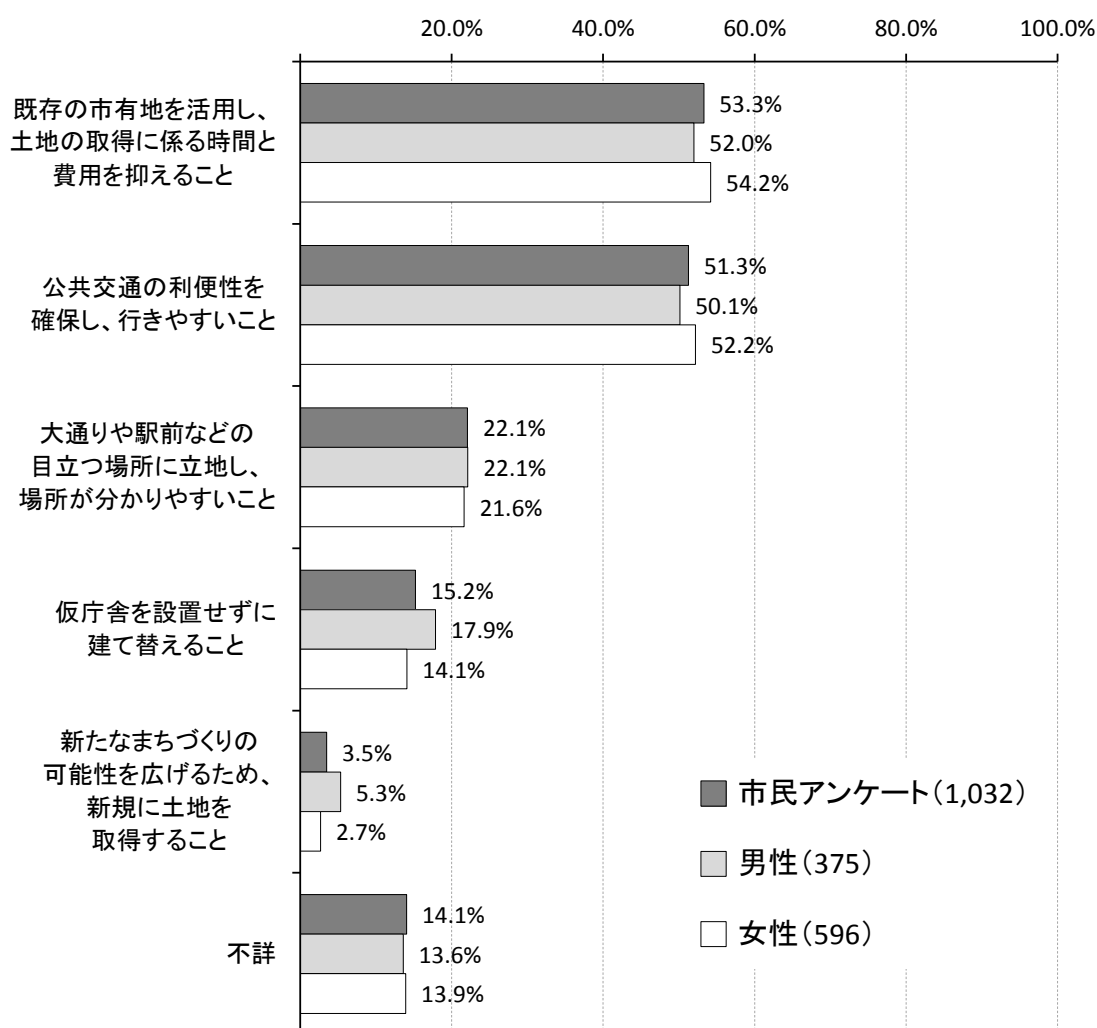
※自由記述の中で学校等の市有地を記載した回答は集計対象外とした

(15) 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること

問 15. 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること（問9～問13）の中から、重要と思うものに○をつけてください。（○は2つ以内）

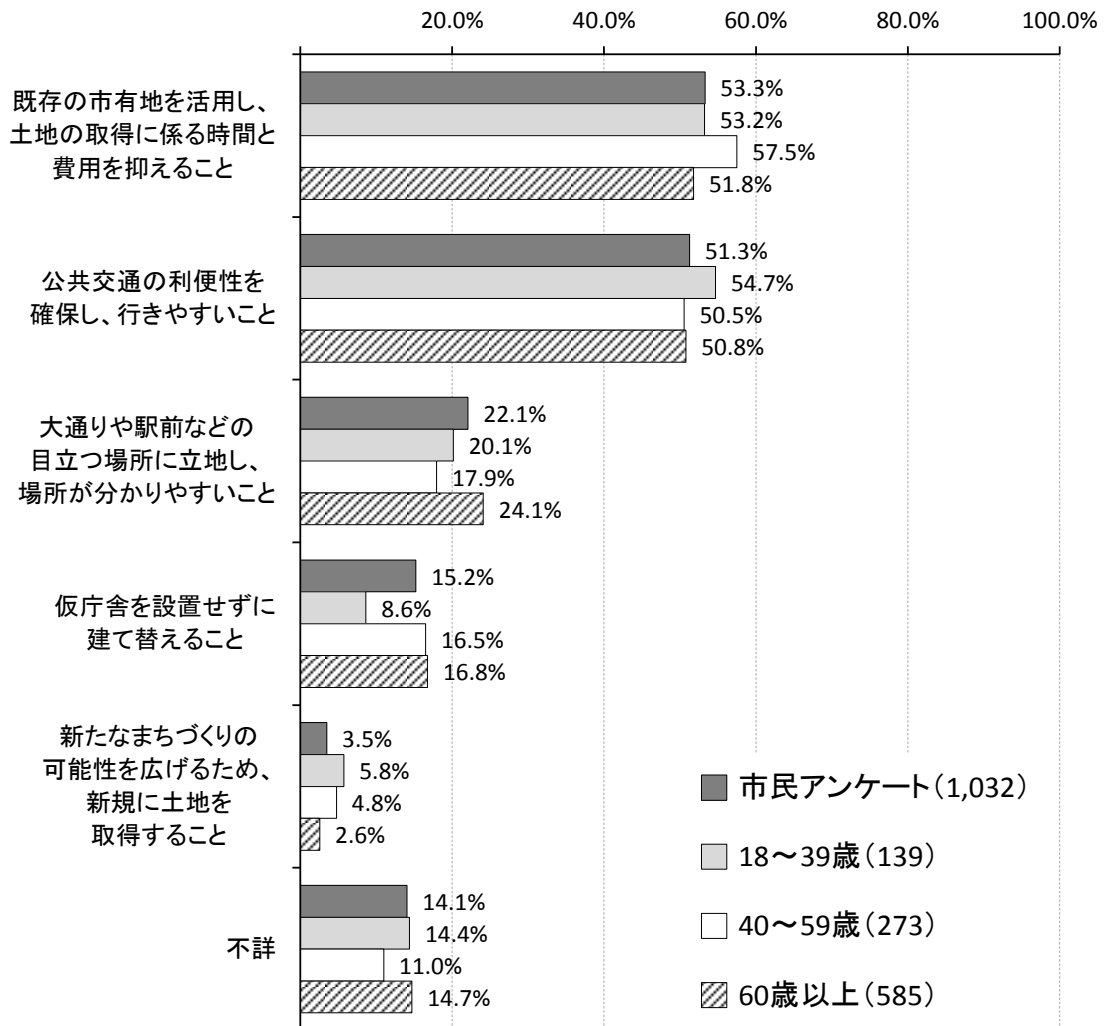
- ・最も割合が高いのは「既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること」で53.3%、次いで、「公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと」が51.3%である。
- ・性別にみると、最も割合が高いのは男性・女性とも「既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること」で、それぞれ52.0%、54.2%である。
- ・建設場所の検討で考慮すべきことについては、性別に関係なく概ね同じ傾向がみられる。

■建設場所の検討で考慮すべきこと【複数回答】（性別）



- ・年代別でも概ね同じ傾向であるが、「仮庁舎を設置せずに建て替えること」については、「18～39歳」は他の年代よりも割合が低くなっている。

■建設場所の検討で考慮すべきこと【複数回答】（年齢別）



4 調査票

4-1. 市民アンケート調査

(1) 依頼文

市庁舎の整備に関するアンケート調査

ご協力をお願い

日頃から、まちづくりへのご参加とご協力をいただきありがとうございます。

さて、現在の市庁舎（本館）は、建設後 80 年以上が経過し、建物や設備の老朽化、耐震性能不足、バリアフリーなどの課題を抱えています。

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震においては、災害活動の拠点となる庁舎が損壊し、使用不能になったことで、復旧活動や業務継続に支障をきたした例が見られ、庁舎の耐震性の確保について、全国的にその重要性の認識が広まったところです。

このような背景を踏まえ、本市では、当初平成 31 年度に予定していた庁舎整備の検討を平成 28 年度に前倒しして実施しています。具体的には、平成 28 年度に、庁舎の耐震診断調査や現況調査を実施し、平成 29 年度に「大牟田市庁舎整備手法検討に係るシミュレーション結果報告書」を作成、公表したところです。

現在、市庁舎の改修や建替えに向けた検討を進めており、平成 30 年度内に目標年度等を含めた対応方針を決定することとしています。

このアンケート調査は、そのような庁舎整備の方向性を検討するために、市民の皆さんのご意見を伺うものです。本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 30 年 6 月

大牟田市長 **中尾 昌弘**

※この調査は、市内にお住まいの 18 歳以上の方の中から、2,000 名を無作為抽出し、実施しています。（必要に応じ、ご本人に代わり家族や介助者の方が回答いただいても構いません。）

※回答いただいた調査票は、本調査以外の目的で使用することはありません。

※調査票へ記入いただいた内容を基に個人が特定されることはありません。

注 意 事 項

- ・ 緑色の調査票に直接記入してください。
- ・ 回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**7 月 10 日（火）**までに郵便ポストに投函ください。
- ・ **7 月 3 日（火）・ 5 日（木）・ 7 日（土）の 19 時から、「市長と市民との意見交換会」**を開催します。これまでの庁舎整備の調査や検討の経過等を説明し、市民の皆さんの意見を伺います。本アンケートを回答いただくにあたって参考になると思います。是非、ご参加ください。
※**7 月 3 日（火）と 5 日（木）**は「大牟田文化会館」、**7 日（土）**は「えるる」で実施します。（詳細は、「6 月 15 日号 広報おおむた」や市のホームページをご覧ください。）

◆ アンケートに関する問い合わせ先 ◆

大牟田市役所 公共施設マネジメント推進課 総合管理担当	住所：〒836-8666 大牟田市有明町 2 丁目 3 番地 電話：0944-41-2557 ファクス：0944-41-2552 メール：e-koukyou01@city.omuta.fukuoka.jp
-----------------------------------	--

(2) アンケート回答にあたっての参考資料

H30年6月

アンケート回答にあたっての参考資料

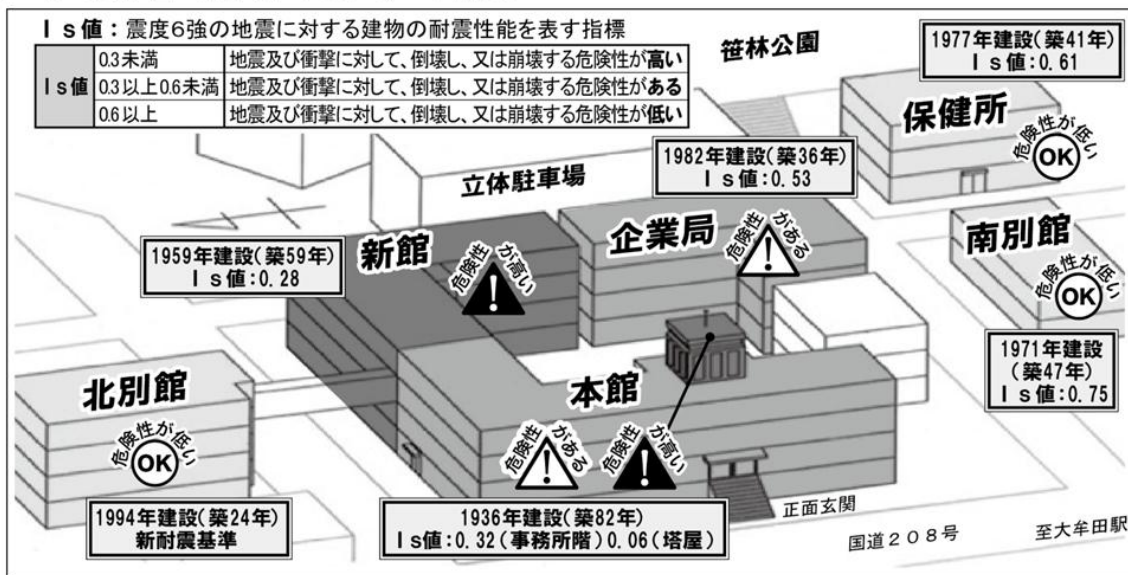
***** お願い *****

アンケートに回答いただく前に、こちらの資料をご一読ください。

この資料には、庁舎が抱える課題やこれまでの庁舎整備の検討経過等を記載しています。

1. 市庁舎が抱える課題（耐震性能と機能性）

(1) 市庁舎（有明町地区）の概要



(2) 市庁舎が抱える課題（H28年度大牟田市現況調査より）

- 1 耐震性能が低い庁舎が複数あるため、大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となるべき庁舎自体が損傷する恐れがあります。
- 2 古くなった建物や設備を維持するのに、多くの費用がかかっています。また、省エネ性能が低くなっています。
- 3 目的の部署までの行き方が分かりにくく、移動に大きな負担がかかっています。
- 4 相談対応時などにおいて、来庁者のプライバシーに配慮したスペースが、十分には確保できていません。
- 5 エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が利用しにくくなっています。
- 6 駐車場の車路や駐車スペースが狭く、停めに小さくなっています。
- 7 窓口や相談スペースが狭い、行政文書等を保管する場所が少ないなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が、十分には整っていません。

2. 市庁舎本館の整備手法を検討する際の留意事項

(1) 市庁舎本館の歴史的価値やシンボル性

現在の市庁舎本館は、旧庁舎が1933年(昭和8年)5月の火災により焼失したため、1936年(昭和11年)3月に建設されました。

中央に塔屋を配した建物の形状は、当時の官公庁に広く用いられましたが、現在となっては、珍しい建造物となっており、市民のシンボリックな建物となっています。

平成17年12月には「国土の歴史的景観に寄与する」ことから、国の登録有形文化財(※)に登録されました。

第二次世界大戦中の大牟田空襲にも耐え抜いた貴重な建造物であり、戦時中使用された**防空監視哨**(屋上南側)や、**大牟田市廳**(正面玄関)と書かれた館銘板もそのままの形で残っています。

また、内部には、現在の市民協働総務課にある**マンテルピース(暖炉)**や**議場**など、建設当時のものが残されています。



大牟田市庁舎(本館)



防空監視哨



大牟田市廳館銘板



マンテルピース



議場

※登録有形文化財とは、保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を登録するものです。重要文化財と比較して緩やかな制度であり、登録有形文化財となった後も、解体することができます。

(2) 市庁舎本館が抱える課題

市庁舎本館は、築80年以上が経過しているため、建物や設備が老朽化しており、災害対応の拠点としての機能を確保することや、バリアフリー化や省エネ化などへの対応が課題です。

また、行政事務の拡大とともに庁舎の増築を重ねたため、窓口等への行き方が分かりにくく、複数の用件がある来庁者には用件先が離れていて不便な状況です。



階段の段の高さが大きい

(3) 本館の整備手法

以上のことから、「本館の整備手法」は庁舎整備の方向性を決める重要な論点の一つであり、「改修して維持するか」、「建て替えるか」について、登録有形文化財としての歴史的価値やシンボル性とともに、費用や庁舎に求められる機能への対応性等を総合的に検討する必要があります。

(4) 本館の整備手法別の比較

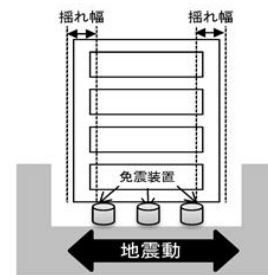
改修の場合（本館のみ）	建替えの場合（本館のみ）
<p>本館を改修する場合、約 24.8 億円の整備費用（免震工法〔※〕による改修費と設備等改修費の合計）がかかります。</p> <p>約 20 年後にその後の維持や管理について再検討が必要となります。</p>	<p>本館と同じ延床面積の庁舎を建設する場合、約 29.9 億円の整備費用（解体費と建設費の合計）がかかります。</p> <p>75 年（※）以上の使用が見込まれます。</p> <p>（※）「大牟田市公共施設維持管理計画」では、鉄筋コンクリート構造物の使用年数を 75 年としています。</p>
<p>主な特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の姿を残したまま、耐震性能が向上する。 整備費用は建替えより安く抑えられる。 バリアフリー等の課題解決は限界がある。 維持管理費用は現在と同水準となる。 	<p>主な特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性能が確保される。 バリアフリー等の課題が解決する。 省エネ性能が向上する。 維持管理費用の削減が見込まれる。

〔※〕免震工法の特徴

建物と基礎との間に免震装置を設置し、地盤と切り離すことで建物に地震の揺れを直接伝えない工法で、危機管理上重要な建物の新築工事や改修工事に幅広く用いられます。

地震のゆれが建物に直接伝わらないため、建物の揺れは地面の揺れよりも小さくなります。

初期費用は高いですが、地震により建物が損傷する可能性が低くなります。








(5) 歴史ある庁舎の改修・建替え（解体）事例

改修事例（名古屋市）	建替え事例（川崎市）
<p>名古屋市本庁舎</p> 	<p>旧川崎市本庁舎</p> 
<p>昭和 8 年建設の庁舎を免震改修し継続使用。</p>	<p>昭和 13 年建設の庁舎（神奈川県内唯一の戦前建設の庁舎）を解体し、旧庁舎のデザインを一部に取り入れた新庁舎を建設予定。</p>
<p>（その他の改修事例） 京都市本庁舎、鹿児島市役所本館 等</p>	<p>（その他の建替え（解体）事例） 旭川市役所庁舎、熊本市役所花畑町別館 等</p>

3. 建て替える場合の建設場所を検討する際の留意事項

(1) 建設場所を検討するにあたり考慮すること

建替えを伴う整備を実施する場合、建設後、再び建て替えるまで庁舎の場所を変更できないため、建設場所について慎重に検討する必要があります。主な留意事項は、以下のとおりです。



<p>(ア) 仮庁舎の確保</p>	<p>【現在地で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事期間中も市民サービスを提供するため、仮庁舎が必要となる場合があります。その場合、現庁舎から離れた場所に設置する可能性があります。 ・仮庁舎を確保する主な方法として、「民間賃貸ビルの活用」、「プレハブの設置」、「既存公共施設等の改修」の3つが考えられます。 ・仮庁舎の確保には費用がかかり、確保の仕方や場所によっては、市民の利便性が低下する可能性があります。 <p>【現在地以外で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度に移転できるため、仮庁舎は必要ありません。 
<p>(イ) 公共交通の利便性の確保</p>	 <p>【現在地で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性は、確保できます。 <p>【現在地以外で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所によって、本市の主な公共交通機関であるJR九州、西鉄電車、西鉄バス等の利便性が異なります。
<p>(ウ) 大通りや駅前 の立地</p>	<p>【現在地で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市庁舎が大通りや駅前にあるため、はじめて来庁する市民に分かりやすいです。 ・郵便局や税務署など他の公共施設に近いため、市民の利便性が高いです。  <p>【現在地以外で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大通りや駅前以外の場所になることがあります。(必ずしも大通りや駅前に立地する必要はないという考えもあります。)
<p>(エ) 既存の市有地の活用</p>	 <p>【現在地で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地であるため、土地の取得に係る時間と費用がかかりません。また、周辺のまちなみや地域住民の生活への影響も少ないです。 <p>【現在地以外で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設候補地は、小学校跡地や公園等が考えられます。 <p>この場合、土地の取得に係る時間と費用が抑えられることが期待できますが、周辺のまちなみや地域住民との調和を図る必要があります。</p>
<p>(オ) 土地の新規取得</p>	<p>【現在地で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の新規取得は必要ありません。 <p>【現在地以外で建て替える場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街なかや商業施設付近の土地を新規に取得して建設する場合、既存の市有地の中から建設場所を選ぶ場合に比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。 ・一方で、土地の取得には地権者等との協議が必要であり、年単位の期間と億単位の費用がかかります。 

(2) 現在地での建替えと現在地以外での建替え（移転建替え）の特徴

市庁舎の建替え方法は、①現在地での建替え、②現在地以外での建替え（移転建替え）の2つがあります。それぞれの特徴は、以下のとおりです。

①現在地での建替え	
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○土地の取得が不要 ○大通りに面しているとともに、駅前の立地となる ○公共交通の利便性が高い ○場所が変わらないため、市民に混乱が生じにくい ○敷地面積が狭く、公共施設との合築等は困難 ○仮庁舎が必要となる場合が多い
②現在地以外での建替え（移転建替え）	
主な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○仮庁舎が不要で、市民の利便性が低下しない ○周辺のまちなみや地域住民の生活に影響がある ○市有地以外で建て替える場合は、土地取得のため、年単位の期間と億単位の費用が必要となる ○場所によっては、現在よりも駐車場が広がる ○場所によっては、庁舎以外の機能を併設することも可能（下記（3）参照）

(3) 庁舎以外の機能を併設した事例

市民交流センターを併設した事例（山鹿市）	地域活動拠点を併設した事例（高浜市）
 <p>山鹿市庁舎 市民交流センター 市庁舎</p>	 <p>高浜市庁舎（建物外観イメージ） 市庁舎 いきいき広場</p>
<p>式典、シンポジウムなど幅広い催し物に対応した文化ホールや研修施設、図書館などを兼ね備えた「市民交流センター」を整備。 ※山鹿市民交流センターのホームページを基に作成</p>	<p>「いきいき広場」は、子ども未来部などの市役所の執務室のほか、市民が利用できる会議室等を備えた、「子育て支援拠点」「生涯学習拠点」「市民活動拠点」として整備。 ※高浜市ホームページを基に作成</p>

（上記のように庁舎以外の機能を併設するためには、「敷地の確保」「既存の公共施設の集約」などの課題をクリアする必要があります。）

※以上の現庁舎が抱える課題や整備手法の特徴などをふまえ、大牟田市では、改修、建替え（現地建替え、移転建替え）などのモデルケースを設定し、庁舎整備のシミュレーションを実施しました。（P6～8参照）

4. 市庁舎整備に関するモデルケースのシミュレーション

モデルケース名	A 改修（本館は改修）	B 一部改修・一部現地建替え（本館は改修）
イメージ図	<p>本館を含め、大部分を改修するケース</p>	<p>本館等を改修し、新庁舎を建設するケース</p>
※「公共サービス等施設」は現庁舎を使用する各種団体の事務所とする		
条件等	<ul style="list-style-type: none"> 本館は免震改修、新館及び延命庁舎は耐震改修、その他の庁舎は改修 延命庁舎の改修費は下記の概算費用に含む 	<ul style="list-style-type: none"> 仮移転を減らすため、まず企業局を解体し、新庁舎（1期）を建設。 その後、新館を解体し、新庁舎（2期）を建設。
事業期間	約7年（うち本館・新館改修は約4年）	約10年（うち新庁舎建設・本館改修は約6年）
概算費用 ※1	41.2億円（うち本館改修分は約24.8億円）	76.3億円（うち本館改修分は約24.8億円）
次の維持・管理の方針を決めるまでの期間	約20年（本館・新館改修後）	約20年（本館改修後）・約75年（建設後）
年あたり費用 ※2	約5.4億円／年	約5.7億円／年
庁舎機能の集約	集約されない	一部集約される
課題の解消性	普通 耐震性能は向上するが、バリアフリー等の課題解決は困難	やや高い 耐震性能は向上するが、バリアフリー等の課題解決は一部困難（本館）
仮移転の必要性	有り 新館は全館、仮移転が必要	有り 新庁舎建設の前後に仮移転が必要
公共施設等との合築の可能性	無し 現状のままであるため、不可能	低い 建築面積に著しい制限があるため困難
課題	<ol style="list-style-type: none"> ①本館の継続的な維持管理（H27～H56まで約8.5億円） ②効率的な仮移転の実施 ③改修後、一定期間経過後にその後の維持や管理について再検討が必要 	<ol style="list-style-type: none"> ①本館の継続的な維持管理（H27～H56まで約8.5億円） ②分散配置を踏まえた部局の再配置 ③効率的な仮移転の実施 ④改修後、一定期間経過後にその後の維持や管理について再検討が必要

※1：仮庁舎や移転に要する費用などを含む。企業局及び職員会館分を除く。

※2：ケースA及びケースB（本館のみ）は改修後20年、ケースB（本館以外）は新庁舎建設から75年までにかかる費用をもとに、年あたりの費用を算出。定期的な改修費や建替え費等のインシャルコスト（初期費用）及び光熱費等のランニングコスト（維持管理費用等）を含む。

※比較検討用に作成しており、この中から事業手法を選択するものではありません

モデルケース名	C 現地建替え・一部改修(本館は解体)	D 移転建替え・一部改修(本館は解体)
イメージ図	<p>本館等を解体し、現在地と立体駐車場敷地に新庁舎を建設するケース</p>	<p>本館等を解体し、笹林公園の敷地に新庁舎を建設するケース</p>
※「公共サービス等施設」は現庁舎を使用する各種団体の事務所とする		
条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・仮移転を減らすため、新庁舎を1期、2期に分けて建設 ・新庁舎(2期)と北別館、新庁舎(1期)を接続する 	<ul style="list-style-type: none"> ・工期を分けずに新庁舎を建設する ・庁舎敷地は、笹林公園の代替公園とする
事業期間	約10年(うち新庁舎建設は約4年)	約8年(うち新庁舎建設は約2年)
概算費用 ※1	85.6億円	89.7億円
次の維持・管理の方針を決めるまでの期間	約75年(建設後)	約75年(建設後)
年あたり費用 ※2	約4.3億円/年	約4.4億円/年
庁舎機能の集約	一部集約される	ほぼ集約される
課題の解消性	高い 耐震性能の向上やバリアフリー等の課題がほぼ解決	高い 耐震性能の向上やバリアフリー等の課題がほぼ解決
仮移転の必要性	有り 移転を円滑に進めれば、仮庁舎は不要	無し 一度に引越してできるため、仮移転は不要
公共施設等との合築の可能性	低い 合築するには敷地が少ない	有り 計画の自由度が高い
課題	<ol style="list-style-type: none"> ①分散配置を踏まえた部局の再配置 ②登録有形文化財(本館)の登録抹消に係る手続きが必要(約9か月) ③周辺の住環境に影響(道路等) 	<ol style="list-style-type: none"> ①笹林公園の敷地整備 ②代替公園の整備 ③登録有形文化財(本館)の登録抹消に係る手続きが必要(約9か月) ④周辺の住環境に影響(道路等) ⑤来庁者駐車場と新庁舎の高低差

※1：仮庁舎や移転に要する費用などを含む。企業局及び職員会館分を除く。

※2：ケースC、ケースDは新庁舎建設から75年までにかかる費用をもとに、年あたりの費用を算出。定期的な改修費や建替え費等のインシヤルコスト(初期費用)及び光熱費等のランニングコスト(維持管理費用等)を含む。

5. 論点の整理

庁舎が抱える課題やシミュレーション結果等をふまえ、庁舎整備の方向性を検討する際の論点を、以下のとおり整理しました。

(1) 庁舎に求められる機能

災害対策の拠点、各部局部署の分かりやすい配置や総合案内の充実、バリアフリーの対応や環境への配慮など、庁舎に求められる機能について検討する必要があります。

(2) 整備手法

各モデルケースの特徴をふまえ、庁舎に求められる機能への対応性や市民負担などを総合的に勘案し、改修、建替え、一部建替え等の整備手法を検討する必要があります。

【本館の改修、建替えの検討について】

本館を改修により維持するか、建て替えるかを判断するには、登録有形文化財としての歴史的価値やシンボル性ととも、市民負担、庁舎に求められる機能への対応性等を総合的に検討する必要があります。

一般的に、改修工事に係る費用は、建替工事に係る費用よりも低くなります。

しかし、古い建物の場合、築年数が長いものほど劣化が進行していることから、新築した建物に比べて改修や維持管理の費用が高く、改修の頻度も多くなる場合があり、長期的には経済性が低くなることもあります。



(3) 建替えの際の建設場所

建替えを伴う整備を実施する場合には、市民の利便性や敷地の現況などの立地特性、事業期間中の業務継続等を勘案し、現在地または現在地以外の建設場所を検討する必要があります。

6. 今後の対応方針

庁舎の抱える課題やシミュレーション結果等を参考に、市民や専門家の意見を聞きながら上記の論点を整理し、平成30年度内に改修、建替え、一部建替え、建替えを伴う場合は現在地または現在地以外での建替え、目標年度等の対応方針を決定します。

なお、建替えを伴う場合は、概算費用が高額となり、工期も長くなることが想定されるため、民間資金やノウハウの活用などの事業手法も視野に入れながら検討します。

※モデルケースのシミュレーションの詳細は市のホームページに掲載しています。
(下記の検索ワードを入力してください。)

大牟田市庁舎 シミュレーション

検索



以上の市庁舎の整備を検討する上でのポイントをご確認の上、アンケートにご回答ください。

市庁舎に求める機能についてお尋ねします

注意

問5～問15は、各問いの左側に、同封している「アンケート回答にあたっての参考資料」の **参照ページ** を記載しています。随時、ご確認ください。

参考資料 P 1

問5. 市庁舎に求めるものを次の中から選んでください。(〇は3つ以内)

1. 大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となる庁舎の耐震性能が確保されていること
2. 古くなった建物や設備が更新され、使い勝手や省エネ等の性能が向上すること
3. 各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと
4. 相談窓口と待合スペースに一定の距離を設けるなど、来庁者のプライバシーが確保されていること
5. エレベーターが複数設置されているなど、バリアフリー化され高齢者や障害者等にも利用しやすいこと
6. 駐車場が安全で、利用しやすいこと（駐車スペースが広い、場内の行き来がしやすい等）
7. 窓口や相談スペースにゆとりを持つなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が整っていること
8. その他（具体的に： _____)

参考資料 P 5 (3)

問6. 市庁舎にあった方がよいと思う機能に〇を付けてください。(〇は3つ以内)

1. 災害発生時の避難場所としての機能
2. 地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能
3. イベント等が実施できる広場機能
4. 地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能
5. 宿泊施設や店舗等、民間のサービス機能
6. 現在の機能のままでよい（特に新たな機能を付加する必要はない）
7. その他（具体的に： _____)

今後の整備手法や本館の取扱いについてお尋ねします

参考資料
P 6～7

問7. 市庁舎の整備手法（改修、建替え）を決定するにあたり、重要だと思う視点に○を付けてください。（○は2つ以内）

1. 市民が利用しやすくなること
2. 整備に要する市民の負担が少ないこと
3. 整備に要する期間（事業期間）が短いこと
4. 整備後にできるだけ長い期間使用できること
5. その他（具体的に： _____）

参考資料
P 2、3
(1)～(4)
P 8

問8. 本館について、「改修して、維持したい」と思いますが、それとも「建て替えてもよい」と思いますが。（○は1つ）

1. 改修して、維持したい → 「1」を選んだ方は、問8-1へ
2. 建て替えてもよい → 「2」を選んだ方は、問8-2へ

問8-1. 問8で「1」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。（○は1つ）

1. 歴史的価値が高いと思うから
2. まちのシンボルだと思うから
3. 改修の方が、整備費用が安いと思うから
4. その他（具体的に： _____）

問8-2. 問8で「2」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。（○は1つ）

1. 建て替えると庁舎の機能（防災拠点やバリアフリー化等）が向上すると思うから
2. 新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから
3. 建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから
4. その他（具体的に： _____）

建て替える場合（本館は維持して本館以外を建て替える場合も含む）の建設場所についてお尋ねします。

参考資料 P 4 (1) (ア)	問9. 建て替える場合は、市民サービスを継続するために仮庁舎を設置する場合があります。設置には一定の費用が必要となりますが、現在地も建設場所の候補地となります。 「仮庁舎の設置」について、どのように考えますか。（〇は1つ）	
------------------------	---	--

参考資料 P 4 (1) (イ)	問10. 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「公共交通の利便性（電車・バスなど）の確保」は重要だと思いますか。（〇は1つ）	
------------------------	--	--

参考資料 P 4 (1) (ウ)	問11. 現在の市庁舎は、国道沿いで駅前の目に付きやすい場所にあります。 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「大通りや駅前などの「分かりやすい場所であること」は重要だと思いますか。（〇は1つ）	
------------------------	--	--

参考資料 P 4 (1) (エ)	問12. 建設場所として既存の市有地を活用する場合、建設候補地は限られますが、土地の取得のための時間と費用が抑えられることが期待できます。 「既存の市有地を活用すること」は必要だと思いますか。（〇は1つ）	
------------------------	--	--

参考資料 P 4 (1) (オ)	問13. 建設場所として街なかや商業施設付近の土地を新規に取得する場合、土地の取得に時間と費用が必要となります。その一方で、既存の市有地に限定する場合に比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。 新規に土地を取得してもよいと思いますか。(〇は1つ)	

参考資料 P 4 (1) (オ)	問14. 問13で「1」または「2」に〇を付けた方にお尋ねします。 市が新規に土地を取得する場合、適切と思う場所について、具体的なご提案があれば、記入してください。(自由記述)
	(適切と思う場所)

参考資料 P 4 ~ 5	問15. 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること(問9~問13)の中から、重要と思うものに〇をつけてください。(〇は2つ以内)									
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問9)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問10)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問11)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問12)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問13)</td> </tr> </table>	1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること	(問9)	2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと	(問10)	3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと	(問11)	4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること	(問12)	5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること
1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること	(問9)									
2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと	(問10)									
3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと	(問11)									
4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること	(問12)									
5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること	(問13)									

最後に、あなたのことについてお尋ねします

問16. 性別・年齢について、それぞれあてはまるものに○を付けてください。(○は1つ)

性別	1. 男性 2. 女性	年齢	1. 18～19 歳	5. 50～59 歳
			2. 20～29 歳	6. 60～69 歳
			3. 30～39 歳	7. 70～79 歳
			4. 40～49 歳	8. 80 歳以上

問17. 大牟田市に通算何年住んでいますか。(○は1つ)

1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10年～19年 4. 20年以上

問18. 現在お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-----------|
| 1. みなと校区 | 6. 大牟田中央校区 | 11. 平原校区 | 16. 上内校区 |
| 2. 天領校区 | 7. 大正校区 | 12. 高取校区 | 17. 吉野校区 |
| 3. 駛馬校区 | 8. 中友校区 | 13. 三池校区 | 18. 倉永校区 |
| 4. 天の原校区 | 9. 明治校区 | 14. 羽山台校区 | 19. 手鎌校区 |
| 5. 玉川校区 | 10. 白川校区 | 15. 銀水校区 | 20. 分からない |

問19. 市庁舎の整備について、ご意見のある方は自由に記入してください。

(自由記述欄)

(次のページへ続きます)

(自由記述欄) ※つづき

回答にご協力いただきありがとうございました
7月10日(火)までに返信用封筒に入れ投函ください(切手不要)

(4) お礼状兼督促状

市庁舎の整備に関する アンケート調査

【調査ご協力の御礼とお願い】

市民の皆様には、平素から市政に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日お送りしました「市庁舎の整備に関するアンケート調査」につきまして、快くご回答いただいた皆様には、大変お忙しい中ご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見は、今後の庁舎整備の検討に活かしたいと考えております。

略儀ながら、本状をもって調査の御礼にかえさせていただきます。

なお、まだご回答いただいていない方につきましては、大変お手数ですが、本調査の趣旨をご理解の上、**7月10日(火)**までにご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成30年7月

【問い合わせ先】

大牟田市企画総務部公共施設マネジメント推進課

電話：0944-41-2557

FAX：0944-41-2552

e-mail：e-koukyou01@city.omuta.fukuoka.jp

4-2. インターネットアンケート調査

(1) 調査票

市庁舎の整備に関するインターネットアンケート

回答内容の入力

操作方法のご説明

下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「回答内容確認」ボタンを押してください。

必須マークがある項目は、必ず入力してください。

また、機種依存文字は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。

途中まで入力した内容を一時保存したい場合、「回答一時保存確認」ボタンを押してください。
ただし、選択した添付ファイルに関しては一時保存されません。

- ・回答前に別紙の「参考資料」をご一読ください。
- ・アンケート期間は、6/21(木)～7/10(火)です。7/10(火)までに回答を完了してください。
- ・本アンケートにおける「市庁舎」とは、有明町地区の本館、新館、南別館、北別館、保健所、企業局を指します。

<p>問1. 過去3年の間、どのくらいの頻度で、市庁舎に訪れていますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 週に1回より多い 2. 週に1回程度 3. 月に1回程度 4. 数か月に1回程度 5. 年に1回程度 6. 年に1回より少ない</p>
<p>問2. 市庁舎に訪れる場合の主な交通手段は何ですか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 自家用車(家族の送迎含む) 2. バス 3. 電車(JR・西鉄) 4. 自転車 5. バイク 6. 徒歩 7. タクシー その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問3. 主にどのような目的で、市庁舎に訪れていますか。</p>	<p>あてはまるものを全てを選択してください</p> <p>1. 戸籍(出生・死亡等)・住民票・印鑑等の登録・届出・証明関係 2. 医療・介護・子育てなど福祉関係 3. 国民健康保険・国民年金関係 4. 税金関係 5. 公営住宅関係 6. 教育・文化関係 7. 農業や商工業関係 8. 公民館や地域関係 9. 建築・開発、都市計画、道路、公園関係 10. 水道・下水道関係 11. ごみや環境関係 12. 議会関係 13. 会議打合せなど 14. 市庁舎に行ったことがない その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問4. 市庁舎を利用して困ったこと、不便に感じたことは何ですか。</p>	<p>あてはまるものを全てを選択してください</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. 用件先がどこにあるか分かりにくい 2. 複数の窓口を利用する際、距離が遠い 3. プライバシーに配慮した相談場所が少ない 4. 廊下、階段、ロビー等が狭く感じる 5. エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が移動しにくい 6. 地震など災害に対する安全性に不安がある 7. 子連れに配慮した設備(授乳室等)やスペースが十分でない 8. 建物内が暗い 9. トイレが使いづらい、多目的トイレが少ない 10. 空調の効きが悪い(暑い、寒い) 11. 駐車場が足りない・使いにくい 12. 駐輪場が足りない・使いにくい 13. 特に問題を感じていない 14. 市庁舎を利用したことがない <p>その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問5. 市庁舎に求めるものは何ですか。</p>	<p>回答は3つ以内でお願いします</p> <p>問5～問15は、特に参考資料をご確認のうえ、回答をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となる庁舎の耐震性能が確保されていること 2. 古くなった建物や設備が更新され、使い勝手や省エネ等の性能が向上すること 3. 各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと 4. 相談窓口と待合スペースに一定の距離を設けるなど、来庁者のプライバシーが確保されていること 5. エレベーターが複数設置されているなど、バリアフリー化され高齢者や障害者等にも利用しやすいこと 6. 駐車場が安全で、利用しやすいこと(駐車スペースが広い、場内の行き来がしやすい等) 7. 窓口や相談スペースにゆとりを持つなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が整っていること <p>その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問6. 市庁舎にあった方がよいと思う機能を選択してください。</p>	<p>回答は3つ以内でお願いします</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害発生時の避難場所としての機能 2. 地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能 3. イベント等が実施できる広場機能 4. 地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能 5. 宿泊施設や店舗等、民間のサービス機能 6. 現在の機能のままでよい(特に新たな機能を付加する必要はない) <p>その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問7. 市庁舎の整備手法(改修、建替え)を決定するにあ</p>	<p>回答は2つ以内でお願いします</p>

<p>たり、重要だと思ふ視点を選んでください。</p>	<p>1. 市民が利用しやすくなること 2. 整備に要する市民の負担が少ないこと 3. 整備に要する期間(事業期間)が短いこと 4. 整備後にできるだけ長い期間使用できること その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問8. 本館について「改修して、維持したい」と思いますが、それとも「建て替えてもよい」と思いませんか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 改修して、維持したい 2. 建て替えてもよい</p>
<p>問8-1. 問8で「1. 改修して、維持したい」を選んだ理由として、最も近いものを1つ選んでください。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 歴史的価値が高いと思うから 2. まちのシンボルだと思うから 3. 改修の方が、整備費用が安いと思うから その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問8-2. 問8で「2. 建て替えてもよい」を選んだ理由として、最も近いものを1つ選んでください。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 建て替えると庁舎の機能(防災拠点やバリアフリー化等)が向上すると思うから 2. 新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから 3. 建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから その他</p> <p>「その他」を選択された場合にご記入ください。</p>
<p>問9. 建て替える場合は、市民サービスを継続するために仮庁舎を設置する場合があります。設置には一定の費用が必要となりますが、現在地も建設場所の候補地となります。「仮庁舎の設置」について、どのように考えますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 設置してもよい 2. 必要であれば設置もやむをえない 3. できるだけ設置は避けるべきだ 4. 設置すべきではない</p>
<p>問10. 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「公共交通の利便性(電車・バスなど)の確保」は重要だと思いますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 重要 2. やや重要 3. あまり重要ではない 4. 重要ではない</p>
<p>問11. 現在の市庁舎は、目に付きやすい駅前国道沿いにあります。建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、大通りや駅前などの「分かりやすい場所であること」は重要だと思いますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 重要 2. やや重要 3. あまり重要ではない 4. 重要ではない</p>
<p>問12. 建設場所として既存の市有地を活用する場合、建設候補地は限られますが、土地の取得のための時</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 必要 2. やや必要 3. あまり必要ではない 4. 必要ではない</p>

<p>間と費用が抑えられることが期待できます。「既存の市有地を活用すること」は必要だと思いますか。</p>	
<p>問13. 建設場所として街なかや商業施設付近の土地を新規取得する場合、土地の取得に時間と費用が必要となります。その一方で、既存の市有地に限定する場合と比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。新規に土地を取得してもよいと思いますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 取得すべきだ 2. 取得してもよい 3. 取得しない方がいい 4. 取得すべきでない</p>
<p>問14. 問13で「1. 取得すべきだ」または「2. 取得してもよい」を選択された方にお尋ねします。市が新規に土地を取得する場合、適切と思う場所について、具体的なご提案があれば、記入してください。</p>	<p>自由にご記述ください</p>
<p>問15. 市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること(問9～問13)の中から、重要と思うものを2つ選んでください。</p>	<p>回答は2つ以内でお願いします</p> <p>1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること (問9) 2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと (問10) 3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと (問11) 4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること (問12) 5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること (問13)</p>
<p>問16-1. あなたの性別について教えてください</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 男性 2. 女性</p>
<p>問16-2. あなたの年齢について教えてください</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 17歳以下 2. 18～19歳 3. 20～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳 6. 50～59歳 7. 60～69歳 8. 70～79歳 9. 80歳以上</p>
<p>問17. 大牟田市に通算何年住んでいますか。</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10～19年 4. 20年以上 5. 市外に居住</p>
<p>問18. 現在お住まいの小学校区はどちらですか</p>	<p>いずれか1つを選択してください</p> <p>1. みなと校区 2. 天領校区 3. 駿馬校区 4. 天の原校区 5. 玉川校区 6. 大牟田中央校区 7. 大正校区 8. 中友校区 9. 明治校区 10. 白川校区 11. 平原校区 12. 高取校区 13. 三池校区 14. 羽山台校区 15. 銀水校区 16. 上内校区 17. 吉野校区 18. 倉永校区 19. 手鎌校区 20. わからない</p>
<p>問19. 市庁舎の整備について、ご意見のある方は自由に記入してください</p>	

4-3. 団体アンケート調査

(1) 依頼文

平成 30 年 6 月 21 日

各団体の代表者 様

大牟田市長 中尾 昌弘
(公共施設マネジメント推進課)

市庁舎の整備に関する団体アンケート調査について (お願い)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、市政へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

「大牟田市まちづくり総合プラン 2016～2019」の策定の際は、意見交換等にご協力をいただきありがとうございました。

今回は、同プランの中の重要な事業である「庁舎整備の検討」に関するアンケート調査へのご協力をお願いします。

現在の市庁舎（本館）は、建設後 80 年以上が経過し、建物や設備の老朽化や耐震性能不足、バリアフリーなどの課題を抱えています。

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震においては、災害活動の拠点となる庁舎が損壊し、使用不能になったことで、復旧活動や業務継続に支障をきたした例が見られ、庁舎の耐震性の確保について、全国的にその重要性の認識が広まったところ です。

このような背景を踏まえ、本市では、当初平成 31 年度に予定していた庁舎整備の検討を平成 28 年度に前倒しして実施しています。

具体的には、平成 28 年度に、庁舎の耐震診断調査や現況調査を実施し、平成 29 年度に「大牟田市庁舎整備手法検討に係るシミュレーション結果報告書」を作成、公表したところ です。

現在、市庁舎の改修や建替えに向けた検討を進めており、平成 30 年度内に目標年度等を含めた対応方針を決定することとしております。

このアンケート調査は、そのような庁舎整備の方向性を定めるために、各団体の皆様のご意見を伺うものです。

お忙しい中、恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートを回答いただくにあたっての注意事項等を裏面に記載していますのでご参照いただきますようよろしくお願い致します。

市庁舎の整備に関する団体アンケート調査の注意事項等

1. アンケート調査票送付先

調査票は、「大牟田市まちづくり総合プラン 2016～2019」策定時にご協力いただいた団体（私企業、公共機関をのぞく）にお送りしています。

2. 回答にあたっての注意事項

- ・桃色の調査票に直接記入してください。
- ・回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れていただき、7月10日（火）までに郵便ポストに投函ください。
- ・回答にあたってご説明が必要であれば、貴団体の事務所等に伺いますので、下記の問合せ先までご連絡ください。
- ・回答いただいた内容は、団体名が分かる形で公表することはありません。

3. 市長と市民との意見交換会

これまでの庁舎整備の調査や検討の経過等を説明し、庁舎整備の方向性について、市民の皆さんと意見交換する「市長と市民との意見交換会」を実施します。本アンケートを回答いただくにあたって参考になると思いますので、是非、ご参加ください。

【開催日時】

各回	日時	場所
第1回	7月3日（火）19時～	大牟田文化会館
第2回	7月5日（木）19時～	大牟田文化会館
第3回	7月7日（土）19時～	大牟田市市民活動等多目的交流施設 えるる

◆本アンケートに関する問い合わせ先◆

大牟田市 公共施設マネジメント推進課 総合管理担当
住所：〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地
電話：0944-41-2557 ファクス：0944-41-2552
メール：e-koukyou01@city.omuta.fukuoka.jp

(2) 調査票

市庁舎の整備に関する団体アンケート（調査票）

注意

- ・回答前に別紙の「アンケート回答にあたっての参考資料」をご一読ください。
- ・本アンケートにおける「市庁舎」とは、有明町地区の本館、新館、南別館、北別館、保健所、企業局を指します。

団体名： _____ (連絡先) 氏名： _____ 電話番号： _____

市庁舎の利用状況についてお尋ねします

問1. 過去3年の間、主にどのくらいの頻度で、市庁舎に訪れていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 週に1回より多い | 4. 数か月に1回程度 |
| 2. 週に1回程度 | 5. 年に1回程度 |
| 3. 月に1回程度 | 6. 年に1回より少ない |

問2. 市庁舎を訪れる場合の主な交通手段は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | |
|--------------|--------|---------------|
| 1. 公用車（送迎含む） | 4. 自転車 | 7. タクシー |
| 2. バス | 5. バイク | 8. その他 |
| 3. 電車（JR・西鉄） | 6. 徒歩 | （具体的に： _____） |

問3. 主にどのような目的で、市庁舎に訪れていますか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 会議や打合せ |
| 2. 各種手続き |
| 3. 要望・陳情 |
| 4. その他（具体的に： _____） |

問4. 市庁舎を利用して困ったこと、不便に感じたことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 用件先がどこにあるか分かりにくい | 8. 建物内が暗い |
| 2. 複数の窓口を利用する際、距離が遠い | 9. トイレが使いづらい、多目的トイレが少ない |
| 3. プライバシーに配慮した相談場所が少ない | 10. 空調の効きが悪い（暑い、寒い） |
| 4. 廊下、階段、ロビー等が狭く感じる | 11. 駐車場が足りない・使いにくい |
| 5. エレベーターが少ないなど、高齢者や障害者等が移動しにくい | 12. 駐輪場が足りない・使いにくい |
| 6. 地震など災害に対する安全性に不安がある | 13. 特に問題を感じていない |
| 7. 子連れに配慮した設備（授乳室等）やスペースが十分でない | 14. 市庁舎を利用したことがない |
| | 15. その他（具体的に： _____） |

市庁舎に求める機能についてお尋ねします

注意

問5～問15は、各問いの左側に、同封している「アンケート回答にあたっての参考資料」の **参照ページ** を記載しています。随時、ご確認ください。

参考資料 P 1

問5. 市庁舎に求めるものを次の中から選んでください。(○は3つ以内)

1. 大きな地震が発生した際に、災害対応の拠点となる庁舎の耐震性能が確保されていること
2. 古くなった建物や設備が更新され、使い勝手や省エネ等の性能が向上すること
3. 各種手続きなどを一つのフロアで済ませることができ、用件先までの行き方が分かりやすく、移動しやすいこと
4. 相談窓口と待合スペースに一定の距離を設けるなど、来庁者のプライバシーが確保されていること
5. エレベーターが複数設置されているなど、バリアフリー化され高齢者や障害者等にも利用しやすいこと
6. 駐車場が安全で、利用しやすいこと（駐車スペースが広い、場内の行き来がしやすい等）
7. 窓口や相談スペースにゆとりを持つなど、市民サービスを効率的に提供できる環境が整っていること
8. その他（具体的に： _____)

参考資料 P 5 (3)

問6. 市庁舎にあった方がよいと思う機能に○を付けてください。(○は3つ以内)

1. 災害発生時の避難場所としての機能
2. 地域の会議やサークル活動等に利用できる集会機能
3. イベント等が実施できる広場機能
4. 地域の観光情報や特産品等を提供する情報発信機能
5. 宿泊施設や店舗等、民間のサービス機能
6. 現在の機能のままでよい（特に新たな機能を付加する必要はない）
7. その他（具体的に： _____)

今後の整備手法や本館の取扱いについてお尋ねします

参考資料
P 6～7

問7. 市庁舎の整備手法（改修、建替え）を決定するにあたり、重要だと思う視点に○を付けてください。（○は2つ以内）

1. 市民が利用しやすくなること
2. 整備に要する市民の負担が少ないこと
3. 整備に要する期間（事業期間）が短いこと
4. 整備後にできるだけ長い期間使用できること
5. その他（具体的に： _____）

参考資料
P 2、3
(1)～(4)
P 8

問8. 本館について、「改修して、維持したい」と思いますが、それとも「建て替えてもよい」と思いますが。（○は1つ）

1. 改修して、維持したい → 「1」を選んだ方は、問8-1へ
2. 建て替えてもよい → 「2」を選んだ方は、問8-2へ

問8-1. 問8で「1」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。（○は1つ）

1. 歴史的価値が高いと思うから
2. まちのシンボルだと思うから
3. 改修の方が、整備費用が安いと思うから
4. その他（具体的に： _____）

問8-2. 問8で「2」を選んだ理由として、最も近いものに○を付けてください。（○は1つ）

1. 建て替えると庁舎の機能（防災拠点やバリアフリー化等）が向上すると思うから
2. 新しい庁舎になれば、まちのイメージを変えることができると思うから
3. 建替えの方が、今後の改修・維持管理費用が安いと思うから
4. その他（具体的に： _____）

建て替える場合（本館は維持して本館以外を建て替える場合も含む）の建設場所についてお尋ねします。

<p>参考資料 P 4 (1) (ア)</p>	<p>問9. 建て替える場合は、市民サービスを継続するために仮庁舎を設置する場合があります。設置には一定の費用が必要となりますが、現在地も建設場所の候補地となります。 「仮庁舎の設置」について、どのように考えますか。(〇は1つ)</p>	
---------------------------------	--	--

<p>参考資料 P 4 (1) (イ)</p>	<p>問10. 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「公共交通の利便性(電車・バスなど)の確保」は重要だと思いますか。(〇は1つ)</p>	
---------------------------------	--	--

<p>参考資料 P 4 (1) (ウ)</p>	<p>問11. 現在の市庁舎は、国道沿いで駅前の目に付きやすい場所にあります。 建て替える場合の建設場所を決めるにあたり、「大通りや駅前などの「分かりやすい場所であること」は重要だと思いますか。(〇は1つ)</p>	
---------------------------------	---	--

<p>参考資料 P 4 (1) (エ)</p>	<p>問12. 建設場所として既存の市有地を活用する場合、建設候補地は限られますが、土地の取得のための時間と費用が抑えられることが期待できます。 「既存の市有地を活用すること」は必要だと思いますか。(〇は1つ)</p>	
---------------------------------	---	--

参考資料 P 4 (1) (オ)	<p>問13.</p> <p>建設場所として街なかや商業施設付近の土地を新規に取得する場合、土地の取得に時間と費用が必要となります。その一方で、既存の市有地に限定する場合に比べ、新たなまちづくりの可能性が広がります。</p> <p>新規に土地を取得してもよいと思いますか。(〇は1つ)</p>	<table style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取得すべきだ</td> <td style="text-align: center;">取得してもよい</td> <td style="text-align: center;">が 取得しない方 がいい</td> <td style="text-align: center;">取得すべきでない</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">└──────────┘</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">└──────────┘</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">問14へ</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">問15へ</td> </tr> </table>	1	2	3	4					取得すべきだ	取得してもよい	が 取得しない方 がいい	取得すべきでない	└──────────┘		└──────────┘		問14へ		問15へ	
1	2	3	4																			
取得すべきだ	取得してもよい	が 取得しない方 がいい	取得すべきでない																			
└──────────┘		└──────────┘																				
問14へ		問15へ																				

参考資料 P 4 (1) (オ)	<p>問14.</p> <p>問13で「1」または「2」に〇を付けた方にお尋ねします。</p> <p>市が新規に土地を取得する場合、適切と思う場所について、具体的なご提案があれば、記入してください。(自由記述)</p>
<p>(適切と思う場所)</p>	

参考資料 P 4～5	<p>問15.</p> <p>市庁舎の建設場所を検討するにあたって考慮すること(問9～問13)の中から、重要と思うものに〇をつけてください。(〇は2つ以内)</p>										
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問9)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問10)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問11)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問12)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">(問13)</td> </tr> </table>		1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること	(問9)	2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと	(問10)	3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと	(問11)	4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること	(問12)	5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること	(問13)
1. 仮庁舎を設置せずに建て替えること	(問9)										
2. 公共交通の利便性を確保し、行きやすいこと	(問10)										
3. 大通りや駅前などの目立つ場所に立地し、場所が分かりやすいこと	(問11)										
4. 既存の市有地を活用し、土地の取得に係る時間と費用を抑えること	(問12)										
5. 新たなまちづくりの可能性を広げるため、新規に土地を取得すること	(問13)										

問16. 市庁舎の整備について、ご意見を自由に記入してください。

(自由記述欄)

回答にご協力いただきありがとうございました。
7月10日(火)までに返信用封筒に入れ投函ください(切手不要)

本アンケートを回答いただくにあたり、ご説明が必要な場合は、
公共施設マネジメント推進課(電話：41-2557)へご連絡ください。